

日 薬 発 第 8 7 号
平成 1 8 年 7 月 1 2 日

都道府県薬剤師会会長 殿

日 本 薬 剤 師 会
会 長 中 西 敏 夫

平成 1 7 年度「薬と健康の週間」における全国統一事業結果の報告 並びに一般用医薬品の提供に係る服薬指導の充実・徹底について

平素より、本会会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、貴会並びに貴会傘下の会員薬局・一般販売業の先生方のご協力を賜り、昨年 10 月 17 日～23 日に実施した「薬と健康の週間」における全国統一事業の結果がこの程まとまりましたので、ご報告申し上げます。

平成 17 年度の「薬と健康の週間」では、平成 15・16 年度に引き続き、全国統一事業として 薬局・薬店における事業（一般用医薬品提供時の“薬剤師の相談業務”に関するデータ及び相談事例の収集）と、薬剤師会における事業（イベント会場での「お薬相談」の実施等）を行いました。この事業には 8,434 軒の薬局・薬店に参加いただき、その結果約 4 万件の相談事例が収集されました。また、この事業については、272 カ所の薬剤師会で延べ 389 回のお薬相談が開催されました。本事業へのご協力に対しまして、厚く御礼申し上げます。

結果の概要は [別紙 1] のとおりであり、薬局・薬店の薬剤師が一般用医薬品の提供に際して必要な情報提供や服薬指導を行った上で、患者からの質問や相談に応じている実態が明らかになりました。また、患者からの一般用医薬品による副作用の相談に対しても、薬剤師がその症状により使用の中止を指示したり、医療機関を紹介するなどの適切な対応をとっていることも明確にできたものと思われまます。

一般用医薬品は、一般の人が薬剤師等から提供された情報に基づき選択・使用するものですが、今回の結果を見ても、薬局等の薬剤師はその提供に際し、実に様々な相談や質問を受けており、特に H₂ ブロッカーなどスイッチ OTC 薬の提供に当たっては適切な服薬指導を行っています。これらからも、一般用医薬品の提供には医療用医薬品の知識と経験を持つ薬剤師が、適切な情報提供や助言を行うことが重要であると考えます。

今回の結果につきましては、日薬誌 8 月号及び本会ホームページで紹介するとともに、一般用医薬品に関する規制緩和に反対する上での資料として活用することといたします。

本会では、今後とも必要な施策を推進していく所存ですので、貴会におかれましても、会員薬局等における一般用医薬品提供時の服薬指導の充実・徹底につき、一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

記

別紙 1：平成 17 年度「薬と健康の週間」における全国統一事業の結果（概要）

別紙 2：平成 17 年度「薬と健康の週間」中の任意の 1 日に受けた H₂ ブロッカーに関する質問・相談

参 考：平成 17 年度「薬と健康の週間」における全国統一事業の結果（速報値）

別紙 1

平成 17 年度「薬と健康の週間」 における全国統一事業の結果（概要）

平成 18 年 7 月
（社）日本薬剤師会

平成17年度の「薬と健康の週間」（平成17年10月17～23日）では、平成15・16年度に引き続き、全国統一事業として、

- ・薬局・薬店における事業（一般用医薬品提供時の“薬剤師の相談業務”に関するデータ及び相談事例の収集）
- ・薬剤師会における事業（各種イベント会場での「お薬相談」の実施等）

を行いました。

この程、その結果（概要）がまとまりましたので、ご報告いたします。

・薬局・薬店における事業（一般用医薬品提供時の“薬剤師の相談業務”に関するデータ及び相談事例の収集）

平成17年度の全国統一事業には8,434軒の薬局・薬店が参加し、参加薬局・薬店において、1日当たり約16万3千人が一般用医薬品を購入し、このうち約4万人が何らかの相談・質問を行ったことが明らかになりました。（表1）

これを全国の薬局・薬店数62,413軒（平成16年度末）に当てはめると、全国の薬局・薬店では1日平均120万3千人が一般用医薬品を購入し、そのうち29万1千人が何らかの相談・質問を行っていることとなります。この数字は、一般用医薬品の提供に際して、薬局・薬店の薬剤師が必要な情報提供や服薬指導を行った上で、患者からの質問や相談に答え医薬品の適正使用に貢献していることを実証するものであると考えられます。

〔表1〕薬局・薬店における一般用医薬品に関する相談・質問の状況

参加薬局・薬店数	8,434軒
1日当たりの一般用医薬品購入者数	162,598人
一般用医薬品購入者数のうち相談・質問者の数	39,383人

注1）各薬局・薬店には「薬と健康の週間」中の任意の1日についての報告を求めているため、調査結果は1日当たりの平均のもの。

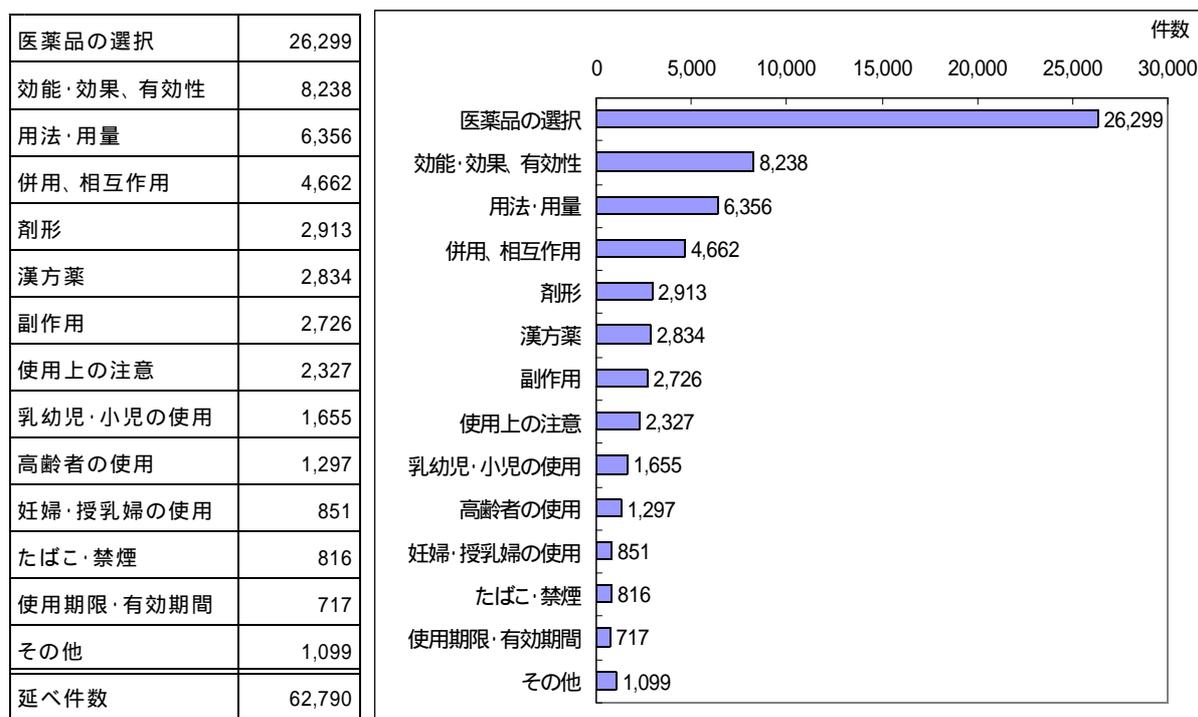
注2）薬店は「一般販売業」のみ。以下同じ。

注3）購入者数には、相談の結果、医薬品を購入しなかった場合を含む。

一般用医薬品についての相談事例を内容別にみると、「医薬品の選択に関するもの」が26,299件と最も多く、一般用医薬品についての相談件数延べ62,790件の41.9%を占めています。次いで、「効能・効果、有効性に関するもの」8,238件（同13.1%）、「用法・用量に

関するもの」6,356件（同10.1%）、「併用、相互作用に関するもの」4,662件（同7.4%）、「剤形に関するもの」2,913件（4.6%）、「漢方薬に関するもの」2,834件（同4.5%）、「副作用に関するもの」2,726件（同4.3%）、「使用上の注意に関するもの」2,327件（同3.7%）などが多くなっています。（表2、図1）

〔表2〕〔図1〕一般用医薬品に関する相談・質問の内容別内訳（複数回答）



最も多かった「医薬品の選択に関するもの」では、患者の症状の訴えから薬剤師が適切と思われる一般用医薬品を選択するもののほか、病気への影響を考慮して適切な一般用医薬品を選択するもの（「緑内障なのだが、疲れ目に効く目薬を選択してほしい」等）

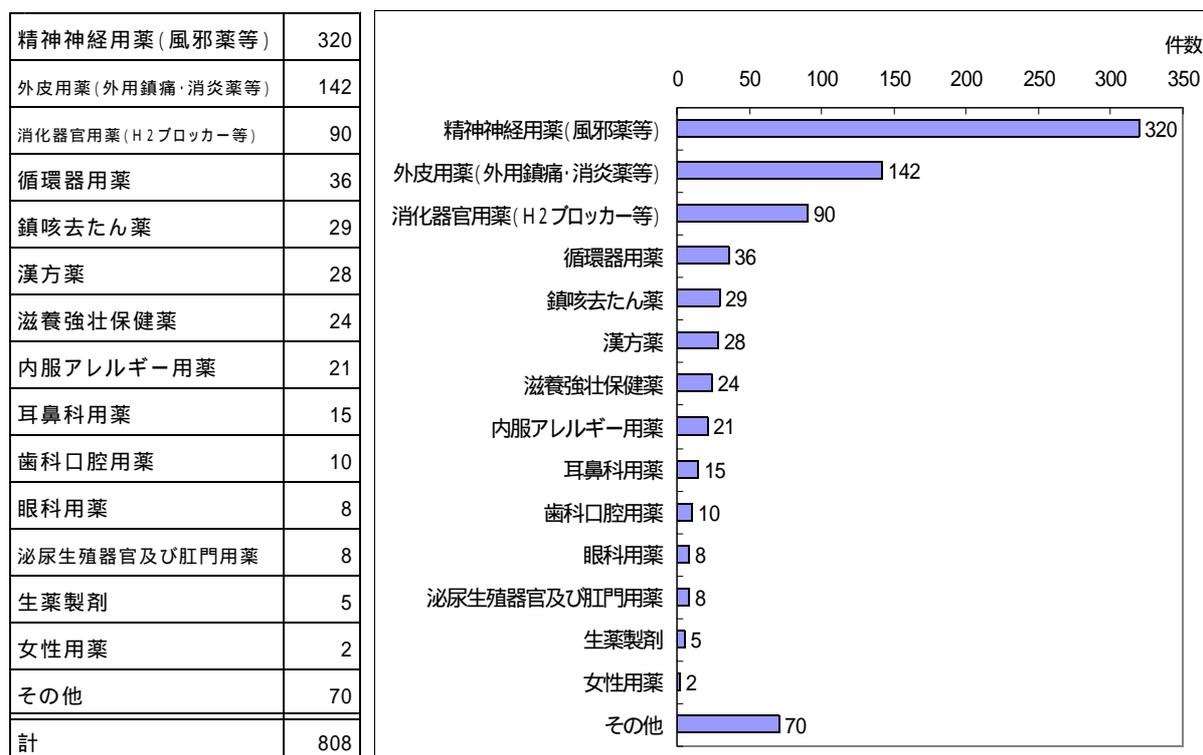
副作用歴・アレルギー歴を考慮して適切な一般用医薬品を選択するもの（「アスピリン喘息でも服用できる風邪薬はどれか」等）、患者のQOLに関する希望を踏まえて一般用医薬品を選択するもの（「眠くならない頭痛薬はあるか」等）、応急措置を尋ねるもの（「（夜間・休日のため）明日には医療機関を受診するが、それまでの対応として一般用医薬品を使用したい」）、その他（「ドーピング検査に反応しない解熱鎮痛剤がほしい」、「常備薬として適切な医薬品を選んでほしい」等）などの相談が多数見られました。

また、「相互作用に関するもの」では、高血圧、糖尿病、高脂血症等の生活習慣病や、リウマチや胃炎・胃潰瘍などの疾患で処方薬を常用している患者に対して、薬剤師が処方薬を聞き取り、医療用医薬品と一般用医薬品の相互作用や成分の重複を確認した上で、併用しても問題のない一般用医薬品を選択する（又は販売しない）事例が多く見られました。なお、薬局で管理している「薬歴」や患者の「お薬手帳」により、服用中の医薬品を正確に把握できたケースが多く、多くの薬局より報告されています。

次に、副作用に関する相談事例（2,726件）のうち、対象薬剤の薬効別分類が判明した808件を「薬効分類別」にみると、最も多かったのは精神神経用薬（風邪薬等）の320件でした。以下、外皮用薬（外用鎮痛・消炎薬等）142件、消化器官用薬（H2ブロッカー等）90件などが多くなっています。

ただし、これらの件数は副作用の発生率を表すものではなく、もともとの使用量の多さが報告件数の多さを反映しているものと考えられます。（表3、図2）

〔表3〕〔図2〕副作用の相談のあった一般用医薬品の「薬効分類別」件数



注1) 副作用に関する相談事例のうち、対象薬剤の薬効別分類が判明したもの

注2) 件数は副作用の症状の数

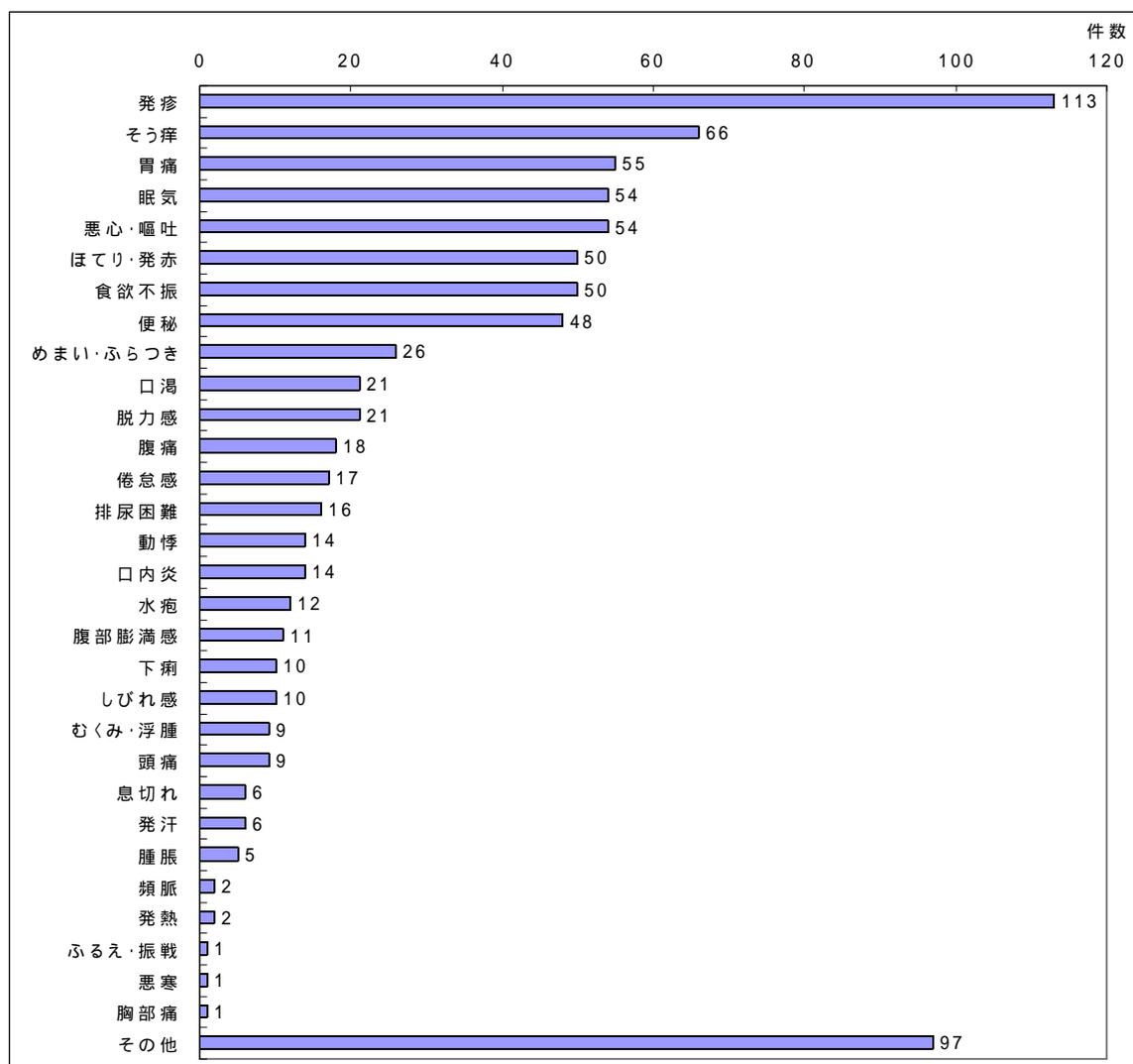
一方、患者等から相談のあった「副作用の主な症状」(複数回答)を見ると、「発疹」が113件と最も多く、以下「そう痒」66件、「胃痛」55件、「眠気」54件、「悪心・嘔吐」54件、「ほてり・発赤」50件、「食欲不振」50件、「便秘」48件などの順となっています。

ただし、これらの件数は副作用の発生率を表すものではありません。（表4、図3）

〔表4〕〔図3〕副作用の主な症状（複数回答）

（件）

発疹	113	そう痒	66	胃痛	55
眠気	54	悪心・嘔吐	54	ほてり・発赤	50
食欲不振	50	便秘	48	めまい・ふらつき	26
口渇	21	脱力感	21	腹痛	18
倦怠感	17	排尿困難	16	動悸	14
口内炎	14	水疱	12	腹部膨満感	11
下痢	10	しびれ感	10	むくみ・浮腫	9
頭痛	9	息切れ	6	発汗	6
腫脹	5	頻脈	2	発熱	2
ふるえ・振戦	1	悪寒	1	胸部痛	1
その他	97	延べ件数	819		



注) 副作用に関する相談事例のうち、対象薬剤の薬効別分類が不明なものを含む

上記の「副作用の相談のあった一般用医薬品の『薬効分類別』件数」と「副作用の主な

症状の件数」の相関、すなわち、どのような一般用医薬品でどのような副作用の発現が疑われたのかをみると、多い組み合わせは下記のとおりでした。(表5)

【表5】副作用の相談のあった一般用医薬品の「薬効分類」と「副作用の主な症状」

風邪薬(132)	眠気(22)、発疹(21)、便秘(17)、排尿困難(9)、食欲不振(8)、胃痛(7)、悪心・嘔吐(5)、めまい・ふらつき(4)、そう痒(3)、腹痛(3)、口内炎(3)、口渇(3)
解熱鎮痛薬(100)	胃痛(20)、発疹(17)、悪心・嘔吐(14)、食欲不振(9)、そう痒(6)、めまい・ふらつき(6)、眠気(6)
その他の外皮用薬(62)	発疹(16)、そう痒(14)、ほてり・発赤(13)、水疱(6)
その他の精神神経用薬(57)	眠気(7)、倦怠感(7)、脱力感(6)、めまい・ふらつき(4)、悪心・嘔吐(3)、食欲不振(3)、便秘(3)、しびれ感(3)、口渇(3)
外用鎮痛・消炎剤(44)	発疹(13)、ほてり・発赤(10)、そう痒(9)
循環器用薬(36)	発疹(5)、そう痒(3)、ほてり・発赤(3)、便秘(3)、腹部膨満感(3)、食欲不振(2)、脱力感(2)
鎮静薬(31)	悪心・嘔吐(6)、めまい・ふらつき(3)、眠気(3)、しびれ感(3)、食欲不振(2)、胃痛(2)、倦怠感(2)
水虫・たむし用薬(30)	発疹(8)、そう痒(8)、ほてり・発赤(6)、水疱(2)、腫脹(2)
鎮咳去たん薬(29)	便秘(9)、眠気(4)、悪心・嘔吐(3)、食欲不振(3)、発疹(2)、胃痛(2)
H2ブロッカー(28)	胃痛(8)、食欲不振(4)、便秘(4)、口渇(3)、悪心・嘔吐(2)、口内炎(2)
漢方薬(28)	食欲不振(4)、むくみ・浮腫(3)、肝機能低下(3)、発疹(2)、そう痒(2)、悪心・嘔吐(2)

注1) ()内の数字は報告件数

注2) 副作用に関する相談事例のうち、対象薬剤の薬効別分類が判明したもの

注3) 副作用の症状は相談の件数が多かった主なもののみ掲載

これら副作用に関する事例では、過去に経験した副作用の回避、注意すべき副作用、長期連用などに関する相談が多く、薬剤師は「使用中止を指示」、「正しい医薬品の使い方等を説明」、「医療機関を紹介」などの対応をとり、副作用の早期発見や重篤化防止に努めるほか、「当該メーカーへの連絡」を行うなど、適切な措置をとっていることが明らかになっています。(表6、図4)

【表6】〔図4〕薬剤師のとした措置(複数回答)

使用の中止を指示	210
服薬指導	162
医療機関を紹介	118
治療のため他の薬を推奨	85
薬効の同じ他の薬を推奨	65
減量を指示	27
当該メーカーに連絡、情報提供	17
厚生労働省へ報告	1
その他	28

注1) 副作用に関する相談事例のうち、対象薬剤の薬効別分類が判明したものについて薬剤師のとした措置

注2) 件数は相談のあった患者に対する措置件数

・薬剤師会における事業（各種イベント会場での「お薬相談」の実施等）

(1) 「お薬相談」の実施

都道府県薬剤師会並びに支部薬剤師会における「お薬相談」については、「薬と健康の週間」中に272カ所で延べ389回行われました。内訳は、都道府県主催のものが28カ所で延べ40回、支部薬剤師会主催のものが244カ所で延べ349回でした。（表7）

〔表7〕「お薬相談」の実施件数

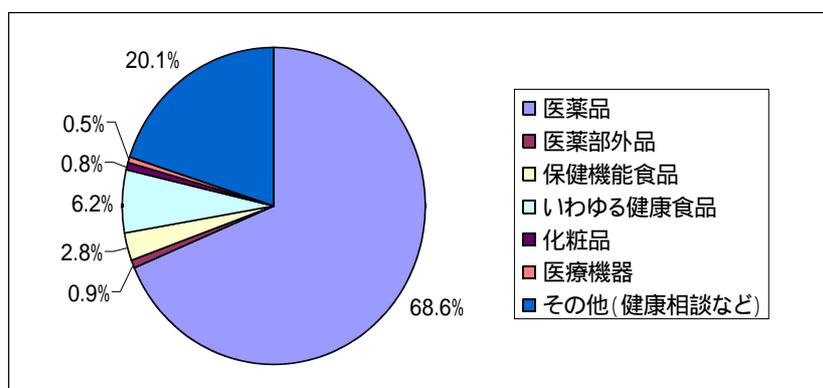
	都道府県薬剤師会	支部薬剤師会	計
実施した薬剤師会	28カ所	244カ所	272カ所
延べ実施回数	40回	349回	389回

参考：支部薬剤師会は全国で約740支部

延べ389回の「お薬相談」で受け付けた5,247件の相談事例を、質問・相談の内容別にみると「医薬品に関するもの」が3,602件（全相談件数の68.6%）と最も多く、いわゆる健康食品327件（同6.2%）、保健機能食品148件（同2.8%）などが多くなっており、医薬部外品、化粧品、医療機器等に関する相談は比較的少数でした。（表8、図5）

〔表8〕〔図5〕相談・質問の内容

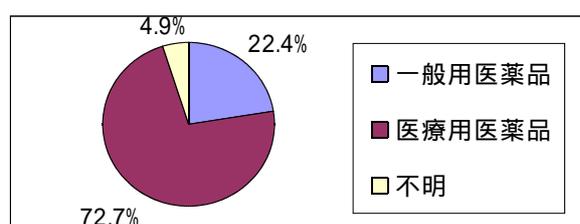
医薬品	3,602
医薬部外品	46
保健機能食品	148
いわゆる健康食品	327
化粧品	43
医療機器	28
その他（健康相談など）	1,053
計	5,247



さらに「医薬品」に関するものの内訳をみると、「医療用医薬品」が2,618件（医薬品に関する相談件数の72.7%）、「一般用医薬品」が807件（同22.4%）で、「不明」は177件（同4.9%）でした。（表9、図6）

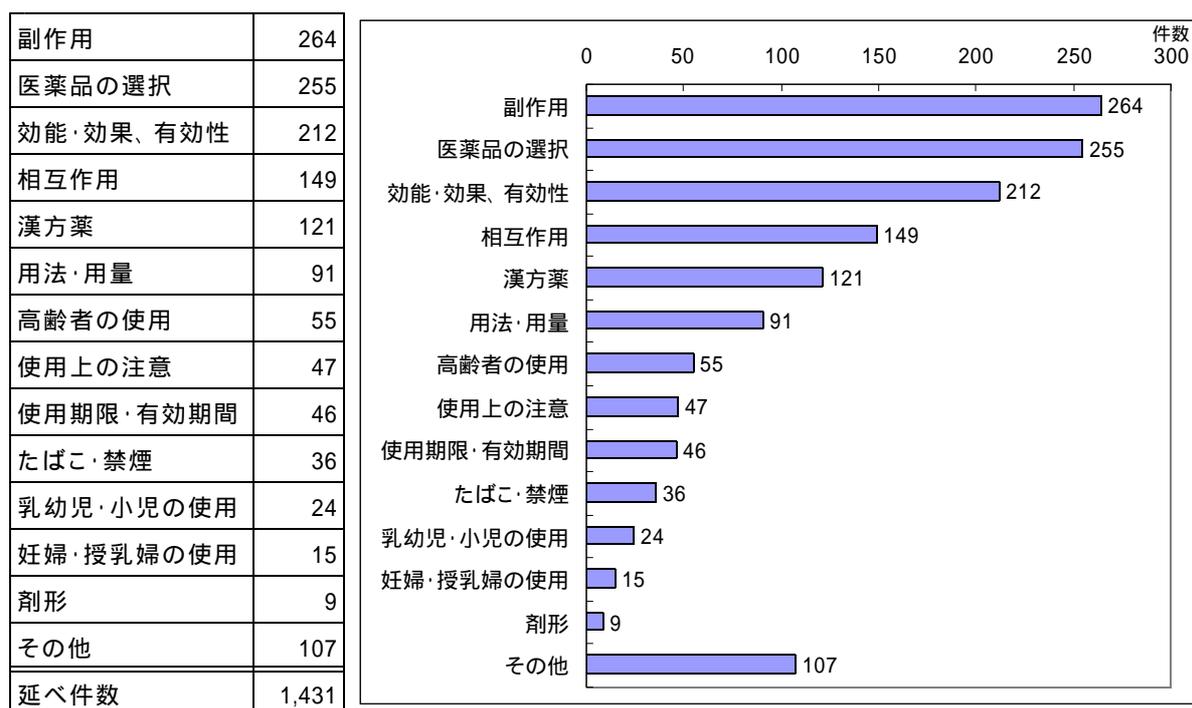
〔表9〕〔図6〕医薬品についての相談の内訳

一般用医薬品	807
医療用医薬品	2,618
不明	177
計	3,602



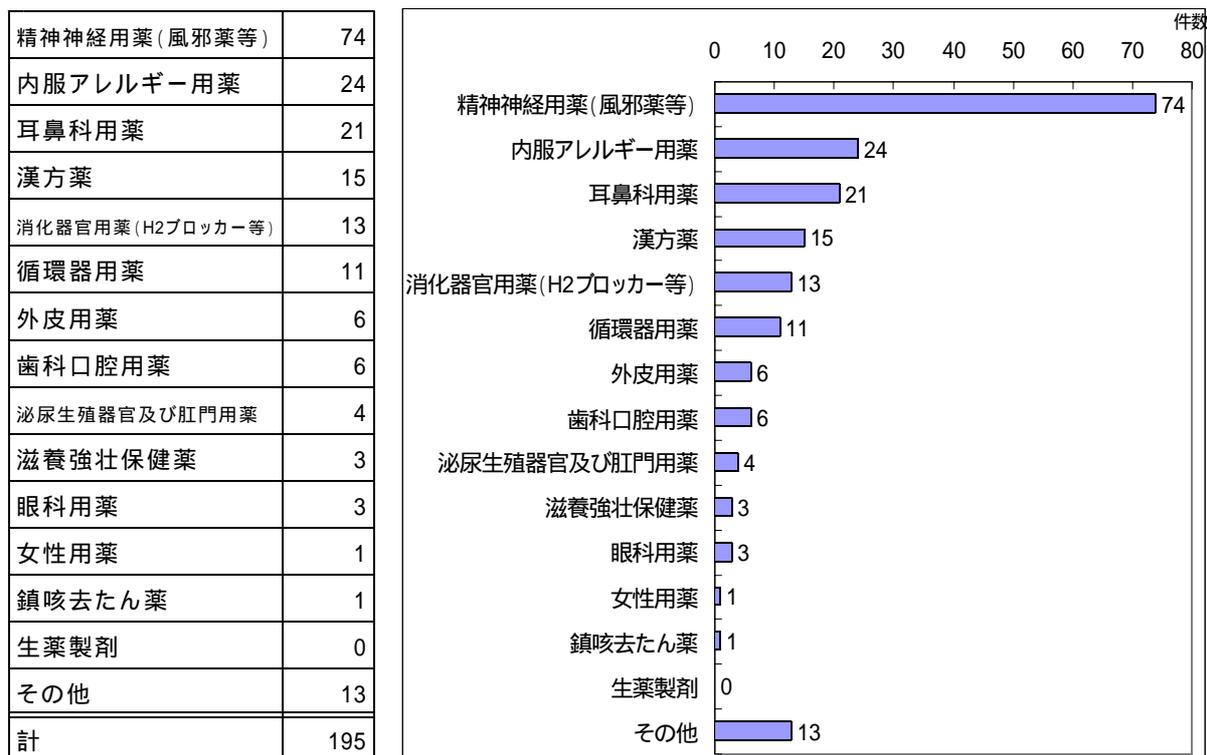
「一般用医薬品に関する相談・質問」を相談内容別にみると、「副作用に関するもの」が264件（一般用医薬品についての延べ総相談件数1,431件の18.4%）と最も多く、以下、「医薬品の選択に関するもの」255件（同17.8%）、「効能・効果、有効性に関するもの」212件（同14.8%）、「相互作用に関するもの」149件（同10.4%）、「漢方薬に関するもの」121件（同8.5%）、「用法・用量に関するもの」91件（同6.4%）などが上位を占めました。（表10、図7）

〔表10〕〔図7〕一般用医薬品に関する相談・質問の内容別内訳（複数回答）



次に、副作用に関する相談事例（264件）のうち、対象薬剤の薬効別分類が判明した195件を「薬効分類別」にみると、最も多かったのは精神神経用薬（風邪薬等）の74件でした。以下、内服アレルギー用薬24件、耳鼻科用薬21件などが多くなっています。ただし、これらの件数は副作用の発生率を表すものではありません。（表11、図8）

〔表11〕〔図8〕副作用の相談のあった一般用医薬品の「薬効分類別」件数



注1) 副作用に関する相談事例のうち、対象薬剤の薬効別分類が判明したもの

注2) 件数は副作用の症状の数

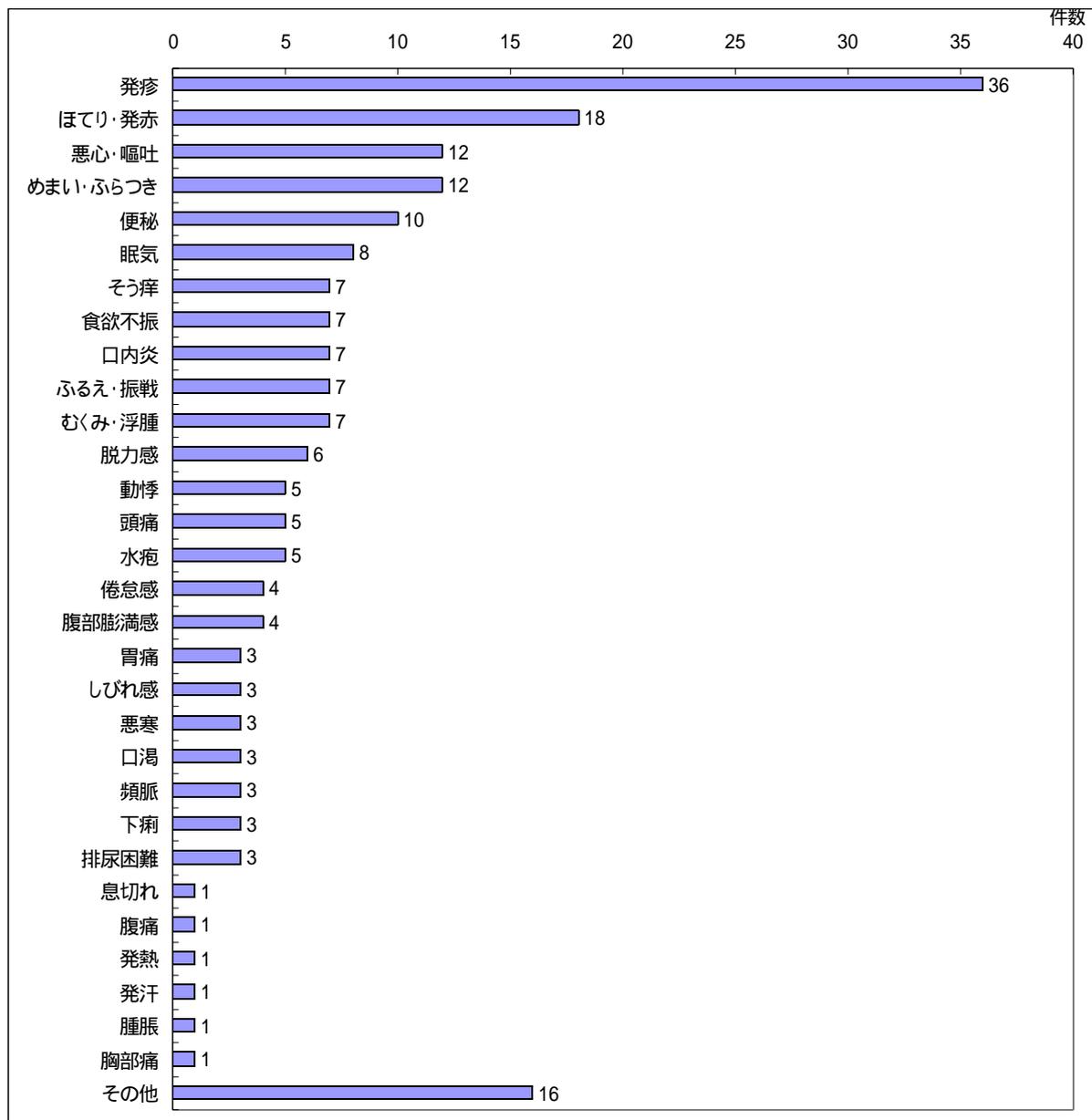
一方、患者等から相談のあった「副作用の主な症状」(複数回答)をみると、「発疹」が36件と最も多く、以下「ほてり・発赤」18件、「悪心・嘔吐」12件、「めまい・ふらつき」12件などが多くなっています。(表12、図9)

〔表12〕副作用の主な症状(複数回答)

(件)

発疹	36	ほてり・発赤	18	悪心・嘔吐	12
めまい・ふらつき	12	便秘	10	眠気	8
そう痒	7	食欲不振	7	口内炎	7
ふるえ・振戦	7	むくみ・浮腫	7	脱力感	6
動悸	5	頭痛	5	水疱	5
倦怠感	4	腹部膨満感	4	胃痛	3
しびれ感	3	悪寒	3	口渇	3
頻脈	3	下痢	3	排尿困難	3
息切れ	1	腹痛	1	発熱	1
発汗	1	腫脹	1	胸部痛	1
その他	16	延べ件数 計	203		

〔 図 9 〕 副作用の主な症状（複数回答）



（注）副作用に関する相談事例のうち、対象薬剤の薬効別分類が不明なものを含む

(2)その他の事業

都道府県薬剤師会並びに支部薬剤師会では、「薬と健康の週間」において、全国統一事業である「お薬相談」以外にも、様々な取り組みを行い、地域住民の医薬品の適正使用や健康増進に努めています。

以下に、都道府県薬剤師会並びに支部薬剤師会より報告のあった取り組みを紹介します。

医薬品の適正使用について

講演会開催、リーフレット配付、パネル展示、ビデオ上映、ラジオ・テレビスポット放映、新聞記事掲載、服薬工夫の紹介、医薬品の管理方法紹介、お薬箱チェック、クイズ実施 等

禁煙の推進について

相談会開催、一酸化炭素濃度測定、リーフレット配付、パネル展示、ニコチン濃度測定、ニコチンパッチの説明、セミナー開催、キャラバンカーでのPR 等

薬物乱用防止について

相談会・講演会開催、リーフレット配付、ビデオ放映、新聞記事掲載、ラジオ・テレビスポット放映 等

介護について

相談会開催、まちがど介護相談薬局紹介、介護用品展示、おむつ等サンプル配付 等
健康食品について

相談会開催、ビタミンチェックコーナー設置 等

薬剤師・薬剤師会の紹介

リーフレット配付、地域薬局地図の掲示・配付、ビデオ上映、子ども調剤業務体験コーナー（お菓子を服用）設置、寸劇上演 等

生活習慣病について

講演会・パネルディスカッション開催 等

アルコールについて

アルコールパッチテスト・依存症テスト実施 等

医薬分業の啓発

パネル展示、リーフレット配付 等

薬草の紹介

薬草展示、薬草茶・薬草弁当配付、薬草探索ハイキング実施 等

健康測定

血糖、体脂肪、尿、血流、骨密度、筋肉量、基礎代謝量、BMI、水分量、身長、体重、毛根状態、肌状態、肺活量等の測定

環境衛生、公衆衛生関係

雨水利用・森林保護・酸性雨・温暖化・ダイオキシン・アイドリング・シックハウスなどに関するパネル展示、飲料水水質検査、手洗いチェック、世界エイズデーキャンペーン 等

その他

健康体操 等

まとめ

今回の全国統一事業では、平成15・16年度と同様、薬局・薬店の薬剤師が、一般用医薬品の提供に際して必要な情報提供や服薬指導を行った上で、患者からの質問や相談に答えている実態を数字として明らかにできたものと考えます。

また、数字には表れていませんが、商品の指名買いの患者に対して薬剤師がよく話を聞いたところ、指名した商品が適当ではなかったケース、連用傾向がある患者に販売を行わなかったケース、薬剤師が「一般用医薬品での対応は難しい」と判断し、一般用医薬品は販売せずに医療機関への受診を促したケース、最小包装単位を優先して販売したケース、一般用医薬品の販売後に電話で相談を受けたケース、他の薬局・薬店で購入した一般用医薬品や配置薬等について相談を受けたケースなども、多数報告されています。

さらに、患者からの「一般用医薬品によると思われる副作用」の相談に対して、薬剤師がその症状等から判断し、使用の中止を指示したり、医療機関を紹介する等の対応をとっていることも、明確にすることができたものと思われま

す。本会では、今後とも一般用医薬品提供時の情報提供や相談業務の一層の充実に向けて、必要な施策を推進していく所存です。

平成17年度「薬と健康の週間」中の任意の1日に薬局で受けた H2ブロッカーに関する質問・相談

〈医薬品の選択について〉

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
40-50	男	仕事のストレスで胃痛がする。以前ガスター(10)がよく効いたのでまた服用したい。	症状が繰り返される場合は一度医療機関を受診するように説明の上、販売する。
40-50	男	最近、空腹時に胃痛がするのだが、何かよい一般用医薬品はあるか。	季節の変化で胃酸が出やすくなっていることが考えられた。症状等を聞き、H2ブロッカーの服用を勧める。
40-50	男	胃痛と胸やけがするのだが、どの一般用医薬品を服用すればよいか。	胃酸の出過ぎが原因と思われたため、ガスター(10)を勧める。また、数日間服用しても改善しない場合には医療機関を受診するように話す。
60-70	男	H2ブロッカーを服用しているが、症状が改善しないので相談したい。	すぐに医療機関を受診するように勧める。後日ピロリ菌が検出されたとの連絡あり。
20-30	女	空腹後に食事を摂ると胃痛がするのだが、何かよい一般用医薬品はあるか。	空腹時に胃酸が分泌されて胃粘膜が荒れたところに食物が触れたことが原因ではないかと説明し、胃液の分泌を抑えるガスター(10)を紹介する。
40-50	男	胃痛(特に食前)で困っているのだが、何かよい一般用医薬品はあるか。	H2ブロッカーを販売し、症状が改善しない場合には医療機関を受診するように勧める。
20-30	男	空腹時に胃痛がするので、コマーシャルで見たガスター(10)を服用してみたい。	他剤の服用の有無などを確認の上、販売する。
40-50	男	空腹時に胃痛がする。以前ガスター(10)を服用してよく効いたのだが、値段が高いので相談したい。	H2ブロッカーの効能・効果や副作用などについて説明し、一度医療機関を受診するように勧める。
20-30	男	胃痛がするので鎮痛剤を服用したい。	鎮痛剤は内臓痛には効果が無く、かえって胃痛を悪化させることを説明する。食後2~3時間後に症状があるとのことから、ガスター(10)を勧める。
40-50	男	夜になると胃痛がするのだが、医療機関は受診したくない。何かよい一般用医薬品はあるか。	H2ブロッカーを販売し、症状が改善しない場合には医療機関を受診するように勧める。
20-30	男	ガスター(10)を時々服用しているが、症状が改善しない。他によい一般用医薬品はあるか。	ガスター(10)や他の一般用医薬品は販売せず、医療機関を紹介したところ、後に胃潰瘍と診断されたとの連絡あり。
40-50	男	胃痛にガスター(10)が効くので購入したい。	度々ガスター(10)を服用しているようであり、一度医療機関を受診するように勧める。
60-70	女	食べ過ぎの時に胃もたれがするので、コマーシャルで見たガスター(10)を服用したい。	胃痛や胸やけの症状はなく、胃もたれのみとのことであり、他の胃薬(パンシロン)を服用するように勧める。
20-30	女	空腹時に胃痛がするのだが、何かよい一般用医薬品はあるか。	ガスター(10)を販売する。また、服用しても症状が改善しなければ医療機関を受診するように説明し、近隣の診療所を紹介する。
40-50	男	胃痛がするのだが、医療機関は受診したくないので、何かよい一般用医薬品を紹介してほしい。	用法・用量などを説明した上でガスター(10)を販売し、症状が改善しない時は必ず医療機関を受診するように説明する。
40-50	男	空腹時に胃痛があり、胃潰瘍ではないかと心配しているのだが、何かよい一般用医薬品はあるか。	医療機関の受診を勧めたが、忙しくて受診できないとのこと。ガスター(10)を販売し、近日中に必ず受診するように話す。

別紙 2

〈医薬品の選択について〉

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
20-30	男	昨日からひどい胃痛がする。以前にも胃穿孔になりかけたことがあり心配なのだが、今は土曜の夜で医療費が高いので受診したくない。何かよい一般用医薬品はあるか。	併用薬や病気の有無、血圧などを確認した上でガスター(10)を販売し、できるだけ早く医療機関を受診するように説明する。
40-50	女	胃がすっきりしない時のみガスター(10)を服用しているが、お腹の張りが取れないので相談したい。	ガスター(10)の薬理作用を説明した上で、ジメチルポリシロキサン含有の大草胃腸薬を紹介する。また、2～3日服用しても効果が現れないときは医療機関を受診するように勧める。
40-50	男	胃痛がするので、何か一般用医薬品を服用したい。	症状を聞いた上でガスター(10)を紹介し、用法・用量などを説明する。
40-50	男	最近げっぷをすると喉が焼けそうになるほどすっぱいのだが、何かよい一般用医薬品はあるか。	胃酸過多よるものと思われたため、ガスター(10)を勧める。また、症状が改善しなければ一度医療機関を受診するように説明する。
40-50	男	胃痛が半年以上続いているが、ガスター(10)を服用すると一時的に改善するので購入したい。	胃潰瘍の可能性などを説明し、一度医療機関を受診するように説明して、販売せず。
60-70	男	コマーシャルで見たガスター(10)を服用してみたい。	症状を聞き、一度医療機関でピロリ菌の検査を受けてみることを勧める。
20-30	女	胃痛がひどいので一般用医薬品を服用したい。	症状から、ガスター(10)を紹介する。
60-70	女	数年前から胃痛がありガスター(10)を服用している。内視鏡の検査が嫌で医療機関は受診したくないのだが、今後も継続してガスター(10)を服用してよいか。	内視鏡以外の検査もあることを説明し、医療機関への紹介状(内視鏡検査以外をお願いする旨も添えて)をお渡しする。その後、バリウム検査により大きな潰瘍が発見されたこと、また、ピロリ菌が検出されたとの連絡を受けた。
40-50	男	胃痛にガスター(10)がよく効くので購入したい。胃カメラが嫌いなので3年ほど医療機関は受診していない。	頻繁に服用を繰り返すと、重大な症状を隠してしまう恐れがあることを説明し、医療機関を受診することを勧める。
40-50	男	胃痛、むかつきがあるので、ガスター(10)を服用したい。	用法・用量を守ること、症状が改善しない場合には医療機関を受診することなどを説明した上で販売する。
60-70	男	ガスター(10)を大量に購入したい。	度々ガスター(10)を求めに来る方であったため、医療機関への受診を勧めてガスター(10)は販売せず。その後、健康診断でスキルス性の胃がんが発見され、入院されたとの連絡を受ける。
40-50	男	胃痛がするので何かよい一般用医薬品を紹介してほしい。	症状からガスター(10)を販売したが、その後再度来局されたため、医療機関の受診を勧める。
60-70	男	胃痛にガスター(10)しか効かないので、購入したい。	続けて服用することにより症状の悪化を隠してしまう可能性を説明し、一度医療機関を受診するように勧める。

別紙 2

《医薬品の選択について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
60-70	女	胃酸が上がってくるような感じがあり気持ちが悪いため、何かよい一般用医薬品を紹介してほしい。	胃酸を抑えるH2ブロッカーを紹介する。また、症状が改善しない場合には医療機関を受診するように勧める。
60-70	女	最近胸やけがひどく困っているため、よい一般用医薬品があれば服用したい。	H2ブロッカーを紹介する。また、仕事で体を曲げて、胃部を圧迫していることが多いことから、できるだけ背筋を伸ばすようにアドバイスする。
40-50	男	以前医療機関から胃潰瘍の医薬品を処方されていたことがある。最近また胃痛がするので、何かよい一般用医薬品があれば服用したい。	症状から、H2ブロッカーを紹介し、症状が改善しない場合は医療機関を受診するように説明する。
40-50	男	胃痛がするのでコマーシャルで見たガスター(10)を服用したい。	併用薬などを確認の上販売し、症状が改善しなければ医療機関を受診するように説明する。
不明	不明	胃の調子が悪いので、ガスター(10)を服用したい。	よく話を聞くと、暴飲暴食が原因であることが分かり、消化剤の胃薬を紹介する。
40-50	男	空腹時にひどい胃痛があるのだが、医療機関を受診したくないので何かよい一般用医薬品を紹介してほしい。	H2ブロッカーを紹介し、2日程服用して改善しなければ医療機関を受診するように説明する。
40-50	女	胃薬を服用しても症状が改善しない時がある。H2ブロッカーを服用すればよいのか。	胃酸分泌の過多が原因と思われたため、H2ブロッカーの服用を勧めるとともに、一度医療機関を受診するように説明する。
40-50	女	みぞおちの辺りが痛むので相談したい。以前ガスター(10)を服用して楽になったことがある。	日曜日の夜であったため小包装のガスター(10)を販売し、早めに医療機関を受診するように説明する。
40-50	女	制酸剤を購入したい。	よく話を聞くと、過去に胃食道逆流症の治療を途中でやめてしまったことがあるとのこと。一時的な対応としてアルタットAを販売し、すぐに医療機関を受診するように説明し説明する。
40-50	男	空腹時に胃痛がするので相談したい。	ガスター(10)を紹介し、症状が改善しなければ医療機関を受診するように勧める。
40-50	男	胃が痛むのでガスター(10)を服用したい。	症状を聞くと、仕事上のストレスによるものと思われたため、安中散製剤を紹介する。
40-50	男	以前ピロリ菌除去の治療を受けたことがあるが、最近また胃の調子が悪いので相談したい。	早めに医療機関を受診するように勧める。
40-50	女	胃痛がするのでH2ブロッカーを服用したい。	以前にも服用経験があるとのこと。長期連用をしないよう説明して販売する。
60-70	女	ガスター(10)を服用しているが、服用を止めると調子が悪くなるので相談したい。	一度医療機関を受診するように勧めたところ、後日、逆流性食道炎との診断を受け、処方せんを持参された。
60-70	不明	胃痛と胃酸の逆流があるので相談したい。	ガスター(10)を紹介し、症状が改善しなければ医療機関を受診するように説明する。
40-50	男	空腹時に胃痛がするのだが、何かよい一般用医薬品はあるか。	ガスター(10)と胃粘膜保護作用のある胃薬を紹介するとともに、一度医療機関を受診するように勧める。
60-70	男	胃もたれがして時々痛むのだが、何かよい一般用医薬品はあるか。	併用薬等を確認した上でH2ブロッカーを販売する。

別紙 2

《医薬品の選択について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
20-30	不明	胃痛がするので相談したい。	併用薬等を確認した上でH2ブロッカーを販売し、改善しなければ医療機関を受診するように説明する。
40-50	男	毎年健康診断で胃炎と診断される。最近特にむかつきがひどいので、ガスター(10)を服用したい。	ガスター(10)を服用すると一時的に症状は治まるが、食生活や飲酒、たばこなどの原因を取り除くことが重要であることを説明する。
20-30	男	気持ちが悪く昨夜は2度嘔吐してしまった。胃のむかつきと吐き気を改善する一般用医薬品はあるか。	乗り物酔いの医薬品とアルタットAを紹介し、早めに医療機関を受診するように勧める。
80-	男	長年胃炎に苦しんでおり、近隣の医療機関を受診しているが改善しない。ガスター(10)を服用してみたい。	話を聞くと、胃の検査を受けたことがないとのこと。検査のできる医療機関を受診するように勧め、ガスター(10)は販売せず。
40-50	男	急な胃痛と不快感がするのでH2ブロッカーを服用したい。	用法・用量などのほか、症状が長引く時には医療機関を受診するように説明して販売する。
40-50	男	胃が痛いのでガスター(10)を服用したい。	話を聞くと、喫煙が原因と思われたため、禁煙を勧めて、胃粘膜保護作用のある胃薬を紹介する。
20-30	女	胃もたれがするのでコマーシャルで見たガスター(10)を服用したい。	ガスター(10)は胃酸分泌制御剤であることを説明し、消化不良からくる胃もたれに効果のある別の一般用医薬品を紹介する。
40-50	男	空腹時と食後に胃痛がするので相談したい。	胃酸分泌を抑えるガスター(10)を紹介し、服用しても症状が改善しないときは医療機関を受診するように説明する。
60-70	男	以前より胃の調子が悪く、胸やけ、胃重、胃痛に悩んでいるが、H2ブロッカーやサクロン、中外胃腸薬、太田胃散などを服用しても改善されないので相談したい。	これまでも繰り返し医療機関の受診を勧めてきた方であり、再度強く受診を促す。受診の結果、胃癌が発見されたとの連絡を受ける。
40-50	男	空腹時に胃が痛み、食後もむかつきがある。仕事のストレスが原因であると思うが、何かよい一般用医薬品はあるか。	ガスター(10)を紹介する。また、症状が治まったら塩酸セトラキサート配合の胃薬で胃を保護することを勧める。
不明	男	胃薬を服用したい。	症状を聞くと、空腹時に特に痛みがあり、すっぱい感じがするとのこと。併用薬がないことを確認の上、H2ブロッカーを販売する。
40-50	男	胃痛がするのだが、何かよい一般用医薬品はあるか。	空腹時の胃痛であることから、併用薬がないことを確認してガスター(10)を販売する。
40-50	男	一カ月ほど前からガスター(10)を服用しているが、症状が改善しないので相談したい。	ヘリコバクターピロリ菌に因る可能性を説明し、医療機関を受診するように勧める。
40-50	男	空腹時に胃痛がするのだが、何かよい一般用医薬品はあるか。	ガスター(10)を紹介する。
40-50	女	空腹時に胃痛がするのだが、何かよい一般用医薬品はあるか。	以前もガスター(10)を服用したことがあるとのこと。服用してもすぐに再発する場合には、一度医療機関を受診するように勧める。
20-30	男	5日前から胃痛がする。3年前に胃潰瘍と診断され、タガメットを処方されたが、自己判断で服用を中止したことがあり相談したい。	H2ブロッカーを販売し、胃痛が軽減しても一度医療機関を受診して検査を受けるように勧める。

別紙 2

〈医薬品の選択について〉

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
40-50	女	胸やけと胃痛があり、胃酸が上がってくる感じがする。以前胃潰瘍を患ったことがあるのだが、何かよい一般用医薬品はあるか。	H2ブロッカーを紹介し、近くの医療機関を紹介する。検査の結果、胃潰瘍であったとの連絡を受ける。
20-30	不明	ひどい胸やけで困っているので相談したい。	過去に胃潰瘍の経験がないことや併用薬の有無を確認し、H2ブロッカーを紹介する。3日間服用しても症状が改善しなければ、医療機関の受診を勧める。
40-50	男	夜間、就寝前～就寝中の胸やけと胃の不快感があるので、適切な一般用医薬品を紹介してほしい。	胃酸過多による症状であると考えられたため、アルタットA(3カプセル包装)を服用して様子を見るように説明する。
40-50	男	テレビCMで見たガスター(10)を服用したい。	症状を聞き、ガスター(10)を販売する。併せて、医薬品の効果で一時的に症状が改善されても、一度医療機関を受診するように勧める。
60-70	男	以前にも健康診断で軽い潰瘍であると診断されたことがあり、しばらくザンタックを服用していた。最近また胃が痛むので相談したい。	再発の可能性を考えて、ラニチジン配合の胃腸薬を勧め、3日間服用しても症状が改善されなければ医療機関を受診するように説明する。
40-50	男	2年前胃潰瘍になった際にガスターD(20)を服用していた。最近また胃が痛み出したため、ガスター(10)を服用したい。	ガスター(10)を服用しても症状が改善しなければ、医療機関を受診するように説明する。
20-30	男	夜間に胃痛がするので相談したい。	胃炎等の原因になる胃酸は夜間に多いことを説明。併用薬が無いことを確認し、H2ブロッカーと胃粘膜保護剤の服用を勧める。
40-50	女	症状にあった胃薬を教えてほしい。以前ガスターD(20)を服用していたことがあるが、今回もH2ブロッカーでよいか。	症状は食後の胃もたれであり、胃痛や空腹時の胸やけもないとのことなので、健胃消化剤の服用を勧める。以前にガスターD(20)を服用されていることもあり、症状が改善されなければ早めに医療機関を受診するように説明する。
60-70	女	胸やけで困っているのだが、H2ブロッカーと胃散ではどちらを服用するべきか。	食べ物の種類によって食後に胸やけがすること。健胃消化薬を勧める。
40-50	男	胃痛がするのだが、どの胃薬を服用するべきか。	胃潰瘍の経歴があり、以前はガスター(10)を服用していたとのこと。ガスター(10)を販売する。また、再発が続く場合は、医療機関を受診するよう勧める。
60-70	不明	胃の調子が悪く、以前は医療機関を受診していたが改善しなかった。一般用医薬品のガスター(10)を服用すると症状が改善するので、購入したい。	ガスター(10)を服用すると一時的に症状が改善されるものの、長期にわたり症状が繰り返されているようなので、近隣の消化器専門の医療機関を紹介する。
40-50	男	H2ブロッカーは体に悪いイメージがある。他によい胃薬はないのか。	症状を聞くと、空腹時に胃の不快感があるとのこと。胃炎が疑われたため、効果のある漢方薬を紹介する。
40-50	男	主に空腹時や夜間、胃部から背中にかけて痛みがあるので相談したい。	飲酒や喫煙を中止するとともに、H2ブロッカーを屯用で服用するよう説明する。また、近日中に医療機関を受診し、検査を受けるように勧める。
40-50	女	空腹時に胸やけがするので相談したい。	胃酸過多が原因であると考えられたため、ガスター(10)の服用を勧める。

別紙 2

《医薬品の選択について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
40-50	男	空腹時に腹痛がする。以前はマーロックスを服用していたが、効果がないので相談したい。	併用薬が無いことを確認し、ガスター(10)の服用を勧める。2～3日間服用しても症状が改善されない場合には一度医療機関を受診するように説明する。
40-50	女	2週間ほど前から空腹時にみぞおちの辺りが痛むので、胃腸薬を服用したい。	ガスター(10)を紹介し、服用しても症状が改善されなければ医療機関を受診するように説明する。
20-30	男	2カ月前に十二指腸潰瘍の治療を受け回復したが、最近また胃痛がするのでガスター(10)を服用したい。	潰瘍の再発が考えられたため、早急に受診するように勧めたが、仕事の都合で1週間ほど受診できないとのこと。一時的な対応としてガスター(10)を販売し、できるだけ早く受診するように説明する。
40-50	女	胃痛がするので適切な一般用医薬品を教えてください。	症状からガスター(10)を販売する。
40-50	男	胃もたれがするので胃薬を服用したい。	症状をよく聞いた上でガスター(10)を紹介し、用法・用量などを説明する。
60-70	男	胃痛と胃酸の逆流がある。既に他の一般用医薬品の胃薬を服用しているが、コマーシャルで見たガスター(10)を服用してみたい。	胃酸過多による症状と思われたため、併用薬がないことを確認し、ガスター(10)を販売する。また、服用しても症状が続くようであれば、医療機関を受診するように勧める。
40-50	男	2～3年前の胃潰瘍の治療後、しばらくは調子が良かったが、最近になって空腹時に胃が痛むようになった。配置薬の胃薬を服用したが効果がないので、適切な胃薬を教えてください。	胃潰瘍の経験があること、症状が空腹時に起こることなどから、H2ブロッカーを紹介する。また、潰瘍以外の可能性を考え、H2ブロッカーは屯服薬として服用し、早めに医療機関を受診するように勧める。
40-50	男	胸やけがするのだが、よい一般用医薬品はあるか。	H2ブロッカーを勧め、数日間服用しても症状が改善されなければ医療機関を受診するように説明する。
20-30	男	みぞおちの辺りがキリキリと痛むので相談したい。	痛みのある部位や症状などを確認し、H2ブロッカーを紹介して服薬指導を行う。また、数日間服用しても症状が改善されなければ医療機関を受診するように説明する。
40-50	男	朝に胸がムカムカして食事ができないほどである。また、食欲低下も感じており、何かよい一般用医薬品があれば服用したい。	胃酸過多が疑われたため、H2ブロッカーの服用を勧める。
20-30	男	胃がキリキリ痛み、食欲もない。以前に胃潰瘍を患ったことがあるのだが、何かよい一般用医薬品はあるか。	ガスター(10)を販売し、2～3日服用しても症状が繰り返される場合には医療機関を受診するように説明する。
不明	女	胸やけや胃痛がする。キャベジンや大正漢方胃腸薬を服用しても効果がないので相談したい。	併用薬やアレルギーの有無、血圧などを確認の上、ガスター(10)を販売する。また、食事についてのアドバイスを行う。
20-30	女	胃痛がするので、友人から勧められたH2ブロッカーを服用したい。	症状を聞くと、H2ブロッカーは適切でないと思われたため、セルベールを紹介する。
40-50	男	2カ月前、腎臓の結石で点滴を受けたのだが、胃痛と胸やけがひどいので何か一般用医薬品を服用したい。H2ブロッカーはどうか。	胃酸過多が原因の胸やけと思われたため、H2ブロッカーではなく、制酸剤配合の胃薬を服用して様子を見るように勧める。
40-50	男	喉が酸っぱいので相談したい。	胃酸過多が疑われたため、制酸剤配合の胃薬を勧め、食事や生活習慣等についてアドバイスを行う。
40-50	男	昨夜胃が痛み眠れなかった。十二指腸潰瘍だと思うのだが、何かよい一般用医薬品はあるか。	日頃はガスター(10)を服用しているが、昨夜は切らしていたとのこと。一度医療機関を受診してみるように勧め、受診までの対応として小包装のガスター(10)を販売する。

別紙 2

《医薬品の選択について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
40-50	男	胃がもたれ、胃酸過多のようなのだが、ガスター(10)を服用してもよいか。	併用薬が無いことを確認し、ガスター(10)を販売する。
40-50	男	ガスター(10)を購入したい。	重大な病気が医薬品によって隠されてしまう可能性などについて説明し、一度胃の検診を受けるよう医療機関を紹介する。
40-50	不明	胃痛がするのでガスター(10)がほしい。	話を聞くと、以前から症状があり、ガスター(10)を服用して我慢してきたとのこと。一度医療機関を受診して検査を受けるように勧める。
40-50	女	胃のもたれ、むかつきがひどく、特に空腹時に症状が悪化する。三共胃腸薬や太田胃散を服用したが、効果がないので他によい胃薬があれば服用したい。	H2ブロッカーのアルタットAを紹介し、小冊子を使用しながら服薬指導を行う。
40-50	女	最近、ストレスのせいか空腹時の胃痛とイライラ感がある。若いときに潰瘍と診断されたことがあるが、何かよい一般用医薬品はあるか。	取りあえずの対応としてガスター(10)を紹介し、医療機関を受診して検査を受けるように説明する。
40-50	女	酸味のゲップが出て息が臭い。また、空腹時に胃痛がするのだが、何かよい一般用医薬品はあるか。	胃酸を抑制する胃薬としてH2ブロッカーを勧め、数日間服用しても症状が改善されなければ医療機関を受診するように説明する。
20-30	不明	胃潰瘍の既往歴があるが、最近その時に似た症状が現れるため、何か一般用医薬品を服用したい。多忙なため、医療機関を受診する時間がない。	胃に焼けるような痛みがあるとのこと。アレルギーや併用薬が無いことを確認し、早急を受診するように説得した上でH2ブロッカーを販売する。また、喫煙を控えるように話す。
40-50	女	胃もたれがするので胃薬を服用したが、改善されないので相談したい。	ガスター(10)の小包装タイプを販売し、服用しても症状が改善されなければ医療機関を受診するように勧める。
60-70	男	ガスター(10)を服用しても、疲労や飲酒が原因で胃が痛くなる。今後もガスター(10)を服用すべきか。別の一般用医薬品に変更すべきか。	長期にわたりガスター(10)を服用されてきたようであり、一度医療機関を受診するように勧める。受診の結果、胃潰瘍と診断されたとのこと。
40-50	男	胃もたれがするので胃薬を服用したい。	併用薬などを確認の上、H2ブロッカーを販売する。
40-50	男	3年前に胃潰瘍と診断されたことがある。最近同じような症状があるのでガスター(10)を服用しているが、胃痛や吐き気が続いている。	胃潰瘍の再発などの可能性について説明し、医療機関を受診するように勧める。
40-50	男	H2ブロッカーを服用したい。	話を聞くと、すでに一般用医薬品の胃薬は一通り服用したが効果がなかったとのこと。一度医療機関を受診するように勧める。
40-50	男	旅行先なのだが、胃が痛むので胃薬を購入したい。	胃酸過多と思われたためガスター(10)を販売し、3日間服用しても症状が改善しなければ医療機関を受診するように勧める。
40-50	女	夜中になると胸やけがして、すっぱいものが込み上げてくる感じがする。何かよい一般用医薬品はあるか。	胃酸過多が考えられたため、ガスター(10)を就寝前に服用してみるよう勧める。また、服用しても症状が改善されなければ、医療機関を受診するように説明する。
60-70	女	2年前に胃潰瘍で治療を受け、ヘリコバクターピロリ菌を除去している。最近また胃痛がするので、ガスター(10)を服用したい。	胃潰瘍の再発の恐れがあるため、検査を受けるように勧める。

別紙 2

《医薬品の選択について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
40-50	女	ストレスや暴飲暴食が原因で胃重、むかつきがあるのだが、どの一般用医薬品を服用すればよか。	長期間我慢していた様子であり、ガスター(10)を紹介する。また、アルコールや刺激物は控えるように説明する。
40-50	男	ここ2～3日腹痛があるので、痛みを止める医薬品を服用したい。昔、十二指腸潰瘍を患ったことがある。	潰瘍の再発が考えられたため、内科を受診するように勧める。受診の結果、胃カメラでの検査で十二指腸潰瘍の再発とピロリ菌が確認された。
40-50	男	ストレスが原因と思われる胃痛がひどい。ガスター(10)を服用すると一時的に治まるのだが、他にもっと効果のある一般用医薬品はあるか。	何らかの疾病が原因であることも考えられたため、一般用医薬品は販売せずに医療機関への紹介状を作成して受診を促す。
60-70	男	以前からよく胃潰瘍になっており、ガスターD(20)とキャベジン服用していた。今も胃潰瘍になっている気がするのだが、何かよい一般用医薬品はあるか。	H2ブロッカーには医療用医薬品と一般用医薬品があるが、胃潰瘍を治療するには医療用医薬品が必要であることを説明し、早めに受診するように勧める。
60-70	男	ガスター(10)を購入したい。	医療機関を受診したことがないとのこと。一度受診するように勧める。
60-70	女	胃もたれと胸やけがする。総合胃腸薬を3日間服用したが、効果がないので相談したい。	症状が空腹時に多いとのことであり、H2ブロッカーを紹介する。3日間服用しても症状が改善されなければ、医療機関を受診するように勧める。
40-50	女	整形外科でリウマチの治療をしているが、ここ2週間程胃酸が逆流するので相談したい。	H2ブロッカーを服用してみるように説明する。また、医療機関の受診を勧めたが、平日の昼間は忙しいとのことなので、夜間・休日に受診できる医療機関を紹介する。
20-30	不明	胃痛がする。以前H2ブロッカーを服用したら改善したのでまた服用したい。	3日間服用しても症状が改善されなければ、胃炎や潰瘍が疑われるため、医療機関を受診するように勧める。
20-30	不明	胃痛と胸やけがする。友人に勧められたH2ブロッカーを服用したい。	話をよく聞くと、食べ過ぎが原因であることが分かったため、H2ブロッカーでは効果がないことを説明して適切な胃薬を販売する。
40-50	男	H2ブロッカーを3日間服用したが、症状が改善しないので相談したい。	ピロリ菌等の可能性が考えられたため、医療機関を受診するように勧める。
40-50	女	胃がキリキリ痛むので健胃薬を服用したが改善しない。何かよい一般用医薬品はあるか。	油物は食べず、喫煙や飲酒もしないとのこと。ガスター(10)を服用してみるように勧める。
40-50	女	5年前に胃の検査を受けた後、H2ブロッカーを1年ほど服用していたことがある。最近また胃痛がするためガスター(10)を服用したが、痛みが続くので相談したい。	医療機関の受診を勧める。
40-50	女	半年程前に受けた検査では異常がなかったが、最近胃の調子が悪いので相談したい。	ガスター(10)を紹介し、服用しても症状が改善しなければ医療機関を受診するように勧める。
60-70	男	空腹になると腹部に痛みを感じるので、何かよい一般用医薬品を紹介してほしい。	H2ブロッカーと胃粘膜保護剤を紹介する。
20-30	男	胃が痛むので適切な一般用医薬品を教えてほしい。	胃、十二指腸潰瘍の既往歴、服用中の医薬品などを確認の上、3日間H2ブロッカーを服用するように勧める。症状が改善しないときは医療機関を受診するように勧める。

別紙 2

《医薬品の選択について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
40-50	男	いつも二日酔いで胃がむかっている。ガスター(10)を服用したが効果がなかったため、他によい胃薬があれば教えてほしい。	制酸薬や健胃薬を紹介する。
40-50	男	以前ガスターD(20)を処方されていたことがある。最近胃がつかえるため、またH2ブロッカーを服用したい。	症状から、消化剤の服用が適切であると思われるため、他の胃薬を紹介する。
60-70	男	新中外胃腸薬を服用しているが、胃のあたりが張ってしまうので相談したい。	胃酸過多などが原因と考えられたため、アルタットコーワの服用を勧める。後日少し改善したとの連絡を受けるが、一度医療機関を受診するように勧める。
40-50	男	空腹時の胸やけがひどいのだが、何かよい一般用医薬品はあるか。	既往歴、服用中の医薬品、便の状態、動悸・息切れの有無などについて確認した上で、H2ブロッカーと胃粘膜保護剤を紹介する。また、一度医療機関を受診するように勧める。
40-50	男	胃痛と食欲不振で半年前からガスター(10)を服用しているが、あまり効果がないので相談したい。	専門医を紹介したところ、膵臓に腫瘍が見つかる。
40-50	男	ガスター(10)を購入したい。	よく話を聞くと、以前医療機関から処方されたソレトン(消炎鎮痛剤)が原因で胃が不調になったことがあり、処方中止後も時々痛むのでガスター(10)を購入、服用しているとのこと。原因も推定できたため、主治医に相談するように説明し、一般用医薬品は販売せず。
60-70	男	ガスター(10)を長期間服用しているが、症状が改善しないので相談したい。	医薬品は正しく使用しないと毒にもなることなどを説明し、すぐに医療機関を受診するように勧める。後日、癌が発見され手術を受けたとの連絡を受ける。
20-30	不明	慢性的な胃痛なので、ガスター(10)を購入したい。	話を聞くと、胃酸の逆流や胸やけ、背中痛があるとのこと。胃潰瘍や逆流性食道炎の可能性について説明し、ガスター(10)は販売せずに医療機関を紹介する。
40-50	男	喘息患者はH2ブロッカーを服用できないと聞いたのだが、喘息でも服用できる胃薬はあるか。	症状としては、胃酸の分泌が多いようなので、他の制酸剤と消化酵素剤配合の一般用医薬品を紹介する。
40-50	女	胃痛や胃重の時にガスター(10)を服用している。服用後は改善してもしばらくすると調子が悪くなるので相談したい。	何かの病気がガスター(10)によって一時的に隠されている可能性を説明し、一度医療機関を受診するように勧める。
20-30	女	3カ月前まで内科からガスターD(20)、コロンチル顆粒、ムスコタ錠を処方されていた。現在症状は治まっているが、時々胃部の不快感があるので、ガスター(10)を服用してみたい。	服用に問題はないが、症状が安定しない時は医師に相談するように説明する。後日、タケプロン15mgが医療機関より処方される。
20-30	女	胃痛でガスター(10)を服用しているが、服用を中止すると症状が悪化するので相談したい。	医療機関を受診するように勧める。
40-50	男	胃痛とむかつきがありサクロンを服用しているが、改善しないので相談したい。	話を聞くと、以前胃潰瘍になった経験があるとのこと。ガスター(10)を紹介する。
20-30	男	胃酸が逆流する感じがするのだが、ガスター(10)を服用してもよいか。	ガスター(10)を数日間服用し、症状が改善しない場合には医療機関を受診するように勧める。また、受診の際にはガスター(10)を服用した時の様子も伝えるようにアドバイスする。

別紙 2

《剤形について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
20-30	女	以前ガスター(10)が胃痛によく効いたので、また服用したい。錠剤より顆粒剤の方が早く効果が現れるように感じたが本当か。	ガスター(10)は単味剤のため、効果発現まで20～30分かかる。散剤と錠剤で吸収や代謝に大差はないが、散剤はすばやく溶けるため、胸やけがある時などにはよいかもしいないことを説明する。
40-50	男	医療機関で処方されるガスターD(10)錠と一般用医薬品のガスター(10)はどのように違うのか。	D錠とは、口腔内で溶かして水無しでも服用できる錠剤であり、効能・効果は同様であることを説明する。

《副作用について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
20-30	女	ガスター(10)の副作用について良くない話を聞くが本当か。	ガスター(10)の効能・効果及び発現する可能性のある副作用などについて説明し、用法・用量を守れば特に心配ないことを伝える。また異変を感じた場合には医師又は薬剤師に相談するように勧める。
40-50	男	空腹時に胃痛がするのだが、何かよい一般用医薬品はあるか。ガスター(10)は副作用が心配である。	胃酸過多が原因である可能性が高いことを説明し、ガスター(10)を勧める。用法・用量を守って服用すれば心配ないが、効果が高いため連用すると病気を隠す恐れがあるので、症状が続くようであれば医療機関を受診するように説明する。
40-50	男	H2ブロッカーを続けて服用しても問題ないか。	胃潰瘍などの可能性について説明し、一度医療機関を受診するように勧める。
40-50	男	胸やけやむかつきがあるのでガスター(10)を服用したいが、副作用が心配である。	症状から、消化剤の胃薬が適当であると思われるため、別の胃薬を紹介する。
40-50	男	ガスター(10)が胃痛に効くのだが、今後も服用を続けてよいか。	頻繁に服用を繰り返すと重大な疾病を隠してしまう恐れがあることを説明し、医療機関を受診することを勧める。
40-50	男	ガスター(10)を服用しても特に症状は改善しないが、何も服用しないと心配なので長期間服用を続けている。	ピロリ菌や逆流性食道炎などの可能性を説明し、すぐに医療機関を受診するように勧める。
40-50	女	ガスター(10)を長期間服用してもよいか。	症状が改善しなければ、一度医療機関を受診するように勧める。
40-50	男	ガスター(10)には習慣性があると聞いたことがあるが本当か。	用法・用量を守り服用すれば問題ないことを説明する。
40-50	女	ストレスを感じると胃痛がするのでガスター(10)を継続的に服用しているが、このまま服用を続けてよいか。	一度医療機関を受診するように勧める。
20-30	男	胃痛でガスター(10)を継続的に服用しているが、服用を中止するとすぐに症状が出るので相談したい。	できるだけ早く医療機関を受診するように説明する。
40-50	男	ガスター(10)を長期間服用しても問題ないか。副作用が心配である。	数日間服用しても症状が改善しなければ、医療機関を受診する必要があることを説明する。
60-70	女	ガスター(10)を長期的に服用してもよいか。	数日間服用しても症状が改善しなければ、医療機関を受診するように説明する。
40-50	男	ガスター(10)を服用してから口が渇くので相談したい。	医薬品の性質上の副作用の可能性のあることを説明する。

別紙 2

《副作用について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
40-50	女	ガスター(10)を服用したところ、ひどく喉が渇いて困った。喉が渇かない胃薬はあるか。	喉が渇いたのは、ガスター(10)の副作用のひとつであることを説明し、漢方薬の胃薬を服用してみるよう勧める。
60-70	女	ガスターD(20)を服用したら食欲不振になり、痩せて入院した知り合いがいる。ガスター(10)を服用して食欲不振になることはあるか。	一般用医薬品のガスター(10)は長期間服用する医薬品ではなく、食欲不振になることはないと思われると説明する。
40-50	女	ガスター(10)を胸やけ時に使用している。長期間服用しないようにとの注意事項を読んだのだが、副作用が心配なので相談したい。	ガスター(10)は医療用医薬品からスイッチされた一般用医薬品で効果が高いこともあり、2週間以上服用すると副作用が発現する可能性が高まることを説明。用法・用量を守るように説明し、それでも症状が改善しなければ医療機関を受診するように勧める。
60-70	男	ガスター(10)を続けて服用してもよいか。	繰り返し購入されていたため、医薬品が重篤な病気を隠してしまう恐れなどを説明し、一度医療機関を受診するように勧める。
60-70	男	これまで胃痛や胸やけ時にガスター(10)を服用して効果を得てきたが、今後も服用を続けても問題ないか。	よく話を聞くと、H2ブロッカーを服用しなくてもよい症状であると思われたため、アズレン配合の胃炎薬に変更してもらう。その後、症状は治まっている。
40-50	女	別の薬局で「緑内障でも服用できる胃薬」を求めたところ、ガスター(10)を紹介され購入したが、ガスター(10)は副作用が心配である。	頻繁に起きる胃痛でなければ、家にあるセルベックスを服用して様子を見ること、また、それでも改善しない場合にはガスター(10)の服用や医療機関を受診するように説明する。

《妊婦・授乳婦の使用について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
20-30	女	妊娠後期なのだが、H2ブロッカーを服用してもよいか。	添付文書を確認し、特に問題ないことを伝える。ただし、胃症状が継続するようであれば、医療機関を受診するように説明する。

《併用・相互作用について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
60-70	女	H2ブロッカーと整腸剤を併用してもよいか。	併用しても問題ないことを説明する。
40-50	不明	コマーシャルで見たガスター(10)を服用してみたい。	話を聞くと、医療機関からオメプラール(10)が処方されていることが分かったため、販売せず。
40-50	女	ガスター(10)を就寝前に服用しているが、胃の調子が悪い時に太田胃散を併用しても問題ないか。	服用時点が異なるため、併用しても問題ないことを説明する。
40-50	男	以前よりガスターD(20)を処方され服用しているが、最近服用しても胃痛が続くことがある。他に併用できる一般用医薬品があれば服用したい。	主治医に相談するように説明し、一般用医薬品は販売せず。
60-70	男	胃がイガイガするので、処方薬と併用できる一般用医薬品がほしい。	当薬局にて処方薬を調剤している方で、現在心臓弁膜症の手術後でワファリンとガスターD(20)を服用している。制酸剤は既に処方されているため、漢方主体の胃薬を紹介する。

別紙 2

《併用・相互作用について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
40-50	女	胃潰瘍の治癒後、H2ブロッカーが処方されているのだが、最近胃が痛み出したので併用できる一般用医薬品を紹介してほしい。	胃潰瘍が再発している可能性について説明し、かかりつけ医に相談するように勧めて一般用医薬品は販売せず。
60-70	女	セルベックスを服用しているが、胃の調子が良くないので一般用医薬品を併用したい。	一時的な対処としてH2ブロッカーを販売し、医療機関を受診するように勧める。その後H2ブロッカーが処方される。
60-70	女	ガスター(10)を購入したい。	よく話を聞くと、医療機関からプロテカジンが処方されていることが分かる。同じ作用の医薬品であることを説明し、ガスター(10)は販売せず。
60-70	女	グルコサミンとガスター(10)及びセルベックスを併用してもよいか。	併用しても問題ないことを説明する。
40-50	不明	医療機関からH2ブロッカーを処方されているが、胃もたれがするので一般用医薬品を併用したい。	消化を助けるタイプの胃薬を紹介する。
40-50	女	胸やけがひどいのでコマーシャルで見たガスター(10)を服用したい。	通院中とのことでお薬手帳を確認すると、既にオメプラール(20)を服用していることが判明。H2ブロッカーが配合されていることを説明して、医師に相談するように勧める。
20-30	男	空腹時に胃痛がする。医療機関からコレステロールを下げる医薬品を処方されているが、併用できる一般用医薬品はあるか。	H2ブロッカーを紹介する。
20-30	女	イブA錠を服用したところ胃が荒れてしまったのだが、ガスター(10)は効果があるか。	ガスター(10)は胃酸を抑える医薬品であることを説明し、胃を守るタイプの胃薬を紹介する。
60-70	男	整形外科から14種類の内服薬と外用薬が処方されているが、胃の調子が悪いのでガスター(10)を服用したい。	処方薬の内容が不明であったため、既に胃薬が処方されている可能性を考えて医薬品は販売せず、かかりつけ医に相談するか、処方薬の内容を教えてほしい旨説明する。
80-	女	胃の調子が悪いので家にある胃腸薬を服用したが改善しない。コマーシャルで見たガスター(10)を服用してみたい。	話を聞くと、すでにH2ブロッカーが処方されていることが判明する。医薬品の効果について説明し、まずは指示通りに服用すること、その上で症状が改善しないようであれば医師に相談するように勧める。
40-50	男	H2ブロッカーと他の胃薬を併用してもよいか。	H2ブロッカーは頓服として、他の胃薬は用法に従って服用するように説明し、症状が改善しない場合には医療機関を受診するように勧める。
60-70	女	たまに胸やけがするのだが、処方されている循環器用薬とガスター(10)を併用してもよいか。	屯用なら特に問題ないことを説明し、頻繁にガスター(10)を服用する必要が出てきた時は主治医に相談するように勧める。
40-50	男	医療機関からザンタック錠が処方されているが、症状が改善しないためガスター(10)を服用したい。	ザンタック錠とガスター(10)は同じ胃酸分泌抑制剤であることを説明し、医師に相談するように勧める。
40-50	男	大腸がんの手術を受けてから空腹時に胃が痛む。胃の検査では異常なしとの結果だったが、何かよい一般用医薬品はあるか。	医師に相談することを勧める。
60-70	男	胃のむかつきがひどいので、ガスター(10)を購入したい。	処方せんを受け付けている方であったため薬歴を確認したところ、現在タケプロンOD(30mg)が処方されていることが判明する。タケプロンとガスター(10)は類似作用成分であることを説明し、主治医に相談するように勧める。
60-70	女	ガスター(10)を服用しているが、太田胃酸を併用してもよいか。	太田胃酸を服用すると調子がよいとのことなので、時間をずらして服用するように説明する。

別紙 2

《併用・相互作用について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
60-70	男	医療機関から胃薬が処方されているが、夜中に胃の調子が悪くなるので相談したい。ガスター(10)を服用してもよいか。	処方薬を確認すると、すでにザンタックや消化剤が処方されており、ガスター(10)と類似成分であることを説明する。また、症状について医師に相談するように勧める。
60-70	女	医療機関から医薬品を処方されているが、ガスター(10)を併用してもよいか。	処方薬の内容を確認した上で、併用に問題がないことを伝える。また、次回受診時に医師に相談するように勧める。その後、ガスターD(10)が併せて処方される。
60-70	男	胃炎で医療機関からガスターD(20)を処方されているが、ガスター(10)も併用したい。	処方薬を服用しても症状が改善されないようであれば、医師に相談するように勧める。また、胃粘膜を保護する一般用医薬品であれば併用できることを説明する。
60-70	女	時々胃痛がするので胃薬を購入したい。	話を聞くと、ロキソニン錠、ステアコール錠、ケイラーゼAカプセル、オパルモン錠を処方されているとのこと。胃痛がある時のみガスター(10)を併用し、様子を見るように勧める。また、万一胃痛が継続するようであれば、胃潰瘍、胆のう炎、すい炎等の可能性も考えられるため、医師に相談するように勧める。
60-70	女	医療機関から鎮痛剤が処方されているが、時々胃が痛むのでガスター(10)を併用している。問題はあるか。	胃痛が鎮痛剤(ロキソニン)による副作用の可能性のあることを説明し、早めに主治医に相談するように勧める。
80-	女	以前医療機関からザンタック錠150を処方されていたが、今は状態が改善したので処方中止となっている。用心のため同成分の一般用医薬品を購入しておきたい。	三共Z胃腸薬を紹介し、服用しても症状が続く時には医療機関を受診するように説明する。
60-70	女	降圧剤を服用しているが、最近むねやけに悩んでいるのでガスター(10)を併用してもよいか。	併用しても問題ないことを説明し、服薬指導を行う。
40-50	男	イトリゾールパルス療法を開始することになったが、ガスター(10)を服用しても構わないか。	イトリゾールは胃内のPHが低いほど吸収がよいことを説明。イトリゾールは朝夕食直後に服用し、その1時間程間隔を空けてガスター(10)を服用するとよいことを説明する。
60-70	男	これまでガスター(10)、アノシンZ、キャベジン、サクロン等を複数の薬局で購入し服用しているが、症状が治まらない。他に併用できる一般用医薬品はあるか。	消化器科を紹介する。
60-70	男	テレビコマーシャルで見たガスター(10)を服用してみたい。	話を聞くと、医療機関から医薬品が処方されているとのこと。内容不明のため自宅より処方薬を持参してもらったところ、ガスターD(20)が処方されていることが判明する。ガスター(10)と同成分であることを説明し、購入は控えていただく。
80-	男	胃癌である家族がガスター(10)を服用している。併用薬もあり心配なので相談したい。	主治医に相談するように勧める。
60-70	女	胃酸が逆流するのでガスター(10)を服用したいが、医療機関から処方されている医薬品と併用してよいか。	処方薬の内容が不明であること、また、高血圧であることから、医療機関の受診を勧める。

別紙 2

《用法・用量について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
60-70	男	以前医療機関からガスターD(20)を処方されたことがある。ガスター(10)を用量の2倍服用したいのだが、他の薬局で色々注意を受けてしまい不安である。本当に服用してはいけないのか。	用法・用量を厳守するように説明し、不安であれば医療機関を受診するように勧める。
40-50	女	一般用医薬品のガスター(10)と医療機関から処方されるガスターD(20)では含有量が異なるようだが、最高でどれだけ服用してよいのか。	決められた用法・用量を守るように説明する。
40-50	男	ガスター(10)の服用間隔について知りたい。	1日2回朝夕に服用すること、必ず用法・用量を守ることなどを説明し、症状が続く場合には一度医療機関を受診するように勧める。
40-50	女	医療機関からガスターD(20)を処方されていたことがあるが、ガスター(10)を用量の2倍量服用してもよいのか。	用法・用量は必ず守るように説明し、症状が改善しなければ医療機関を受診するように勧める。
60-70	男	H2ブロッカーはいつ服用するのが効果的か。	空腹時の服用が効果的であることを説明する。
20-30	不明	H2ブロッカーを購入したい。	用法・用量を説明すると、間違った服用方法を繰り返してきたことが分かり、正しい服薬指導を行う。
40-50	男	ガスター(10)は1日何回まで服用してよいのか。また、いつ服用するのが効果的か。	ガスター(10)は1日2回まで、胃酸が多く分泌する就寝前に服用することが効果的であることを説明する。
20-30	不明	以前ガスターD(20)を服用していたことがあるが、ガスター(10)を用法の2倍量服用してもよいのか。	ガスター(10)とガスターD(20)では使用目的が違うことを説明し、用法・用量を厳守するように話す。
60-70	女	ガスターD(20)を処方されているが、受診する時間がないのでガスター(10)で代用したい。用量の2倍服用してもよいのか。	用法・用量は必ず守るように説明し、医療機関を受診することを勧める。
60-70	女	ガスター(10)の服用方法を教えてほしい。	胃痛、むかつきには1回1錠服用し、8時間以上経っても症状が治まらない時はもう1錠服用することなどを説明する。
40-50	男	以前ガスターD(20)を服用していたことがあるので、ガスター(10)を用量の2倍量服用してよいのか。	用法・用量は厳守するように説明し、服用しても効果が得られない時には医療機関を受診するように勧める。
40-50	男	ガスター(10)は1日何回まで服用してよいのか。	1日2回まで服用できるが、服用しても3日間以上症状が改善されなければ必ず医療機関を受診するように説明する。
60-70	男	以前医療機関よりガスターD(20)を処方されていたが、ガスター(10)を用量の2倍服用してもよいのか。また、多忙のため大量購入してもよいのか。	一般用医薬品と医療用医薬品の違いや用法・用量を守るように説明した上で1箱のみ販売し、再度医療機関を受診するように強く勧める。
40-50	男	ガスター(10)は胃痛時だけ服用すればよいのか。	屯用でもよいが、効果が切れると症状が再び現れる場合には一度医療機関を受診するように勧める。
40-50	女	毎年秋になると胃痛がするので、ガスター(10)を服用している、何日間までなら続けて服用してもよいのか。	まず3日間服用し、症状が改善しなければ医師又は薬剤師に相談するように説明する。

別紙 2

《効能・効果、有効性について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
20-30	不明	タガメットが処方されているのだが、一般用医薬品のガスター(10)と同じか。	同じH2ブロッカーであり、胃酸の分泌を抑制する医薬品であることを説明する。
40-50	女	ガスター(10)とアパロンZはどちらが効果が高いか。	両方ともよく似た成分を配合していることを説明する。
40-50	男	医療機関からガスターD(20)を処方されていて、調子が悪い時のみ服用している。最近忙しくて受診できないので、同じ効果の一般用医薬品がほしい。	できるだけ早く医療機関を受診するように話し、用法・用量を説明した上でガスター(10)を販売する。また、処方された医薬品は医師の指示通りに服用するように説明する。
40-50	男	ガスターD(20)を処方され服用しているが、今後ガスター(10)を代用してもよいか。	治療が終わるまできちんと医療機関を受診するように説明する。
40-50	男	医療機関からアシノン処方されているが、無くなってしまったので同じ医薬品がほしい。	医療機関からH2ブロッカーを処方されている場合には、胃潰瘍等の可能性が考えられたため、再度受診するように説明する。
40-50	女	医療機関からザンタックを処方されているが、手持ちが切れたので同じ医薬品があれば購入したい。	医師の治療計画への影響を避けるため、医療機関を受診するように説明し、H2ブロッカーは販売せず。
40-50	男	医療機関から処方されたガスターD(20)が無くなってしまったのでガスター(10)を服用したい。	成分量の違いで症状が悪化する恐れがあることを説明し、医療機関を受診するように勧める。
60-70	男	H2ブロッカーは胃痛や胸やけに効果があるか。	効果があることを伝える。
40-50	男	以前胃潰瘍の際にガスターD(20)を処方されていたが、最近また胃が痛む。ガスター(10)とガスターD(20)は同じ効果か。	胃潰瘍の再発の可能性について説明して、医療機関を受診するように勧める。また、一時的な対処としてガスター(10)を販売する。
40-50	男	胃痛、胸やけがするのだが、ガスター(10)は医療用医薬品と同じ効果があるか。	話を聞くと、胃潰瘍の治療経験があることが分かったため、早めに医療機関を受診することを勧める。
80-	男	オメプラゾンを処方されているが、受診が面倒なので同成分の一般用医薬品を購入したい。	話を聞くと、家族同伴で受診するよう医師から言われているとのこと。早くに受診するよう強く促す。
40-50	男	医療機関からガスターD(20)を処方されているが、多忙のため受診できないので、少しの間ガスター(10)で代用したい。	ガスターD(20)とガスター(10)では目的が違うことを説明し、早期の受診を勧めた上で、一時的な対処として胃粘膜保護剤とともに最少量のガスター(10)を販売する。
60-70	女	塩酸ラニチジンを処方され服用しているが、効果がないので太田胃散を服用したい。	塩酸ラニチジンと太田胃散の効能の違いを説明し、まず医師の指示通りに服用して改善しなければ、医師に相談するように勧める。
40-50	女	H2ブロッカーは胃酸を全く分泌しなくするのか。	H2ブロッカーは胃酸の出過ぎを抑える医薬品であるが、食べ物の消化に必要な胃酸までを抑えるわけではないことを説明する。
40-50	男	ガスター(10)とガスターD(20)は同じ医薬品か。	含有量のほか、使用目的などが違うことを説明する。
60-70	不明	ガスターD(20)と同じ医薬品がほしい。	ガスターD(20)とガスター(10)の違いを説明し、ガスター(10)は症状が現れた時だけ服用すること、また、症状が改善されなければ再度医師に相談するように勧める。
40-50	男	以前胃痛の時に医療機関から処方されていたH2ブロッカーが良く効いたので、同じ医薬品が欲しい。	症状や併用薬の有無等を確認し、ガスター(10)を紹介する。服用しても症状が改善しなければ、医療機関を受診するように勧める。
40-50	男	消化が悪いのでガスター(10)を服用しているが、このまま服用してよいか。	ガスター(10)は消化剤ではないことを説明し、適切な一般用医薬品を紹介する。
40-50	男	以前より医療機関からガスターD(20)を処方されているが、次回受診できる前に手持ちが切れてしまうので、同じ効果の一般用医薬品を購入したい。	途中で服用を怠ることで症状が悪化する可能性を考え、一時的な対応としてガスター(10)を販売する。

別紙 2

《効能・効果、有効性について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
20-30	男	以前ガスターD(20)を処方されていたことがあるが、最近同じような症状になったため、ガスター(10)を服用したい。忙しく、医療機関を受診する時間がない。	近いうちに必ず医療機関を受診するように説明した上で、ガスター(10)を販売する。
20-30	男	ガスターD(20)を処方されているが、忙しくて受診する時間がないので、一般用医薬品のH2ブロッカーを購入したい。	用法・用量を説明した上で販売し、なるべく早く医療機関を受診するように勧める。
40-50	男	1カ月前に胃痛で医療機関を受診したが、ガスターD(20)を服用したところ調子がよくなったので、その後の受診を自己判断で止めてしまった。最近また胃痛がするので、ガスターD(20)と同じ効果の一般用医薬品を服用したい。	受診を継続しなかったことが原因であると思われるため、ガスター(10)を最小包装分販売し、できるだけ早く医療機関を受診するように説明する。
40-50	男	先日院内でガスターD(20)を服用したが、今は受診する時間がないので同様の一般用医薬品がほしい。	金曜であったため、ガスター(10)を販売し、できるだけ早く医療機関を受診するように説明する。
40-50	男	数日前まで処方された胃薬を服用していたが、次に受診する前に医薬品が無くなってしまった。逆流性食道炎の既往歴があり、医師からは胃酸が出過ぎと診断されたのだが、どうすればよいか。	なるべく早く受診するように勧め、それまでの対応としてガスター(10)を販売する。
40-50	男	医療機関からガスターD(20)を処方されているが、仕事が忙しく受診する時間がないので、同じ効果の一般用医薬品を服用したい。	次回受診までの対応としてガスター(10)を紹介し、なるべく早く受診するように説明する。
40-50	男	医療機関から毎回ガスターD(10)を処方されているが、受診する時間がないので同じ効果の一般用医薬品を購入したい。	小包装のガスター(10)を販売し、なるべく早く受診するように勧める。
40-50	女	以前プロスターM(成分名:ファモチジン)を処方されていたことがある。最近、当時と同様の症状が現れるので、同じ効果の一般用医薬品があれば服用したい。	ガスター(10)を紹介し、服用しても症状が改善されなければ必ず医療機関を受診するように勧める。
40-50	男	ガスター(10)より効果の強い医薬品はあるか。	医療用医薬品にはガスターD(20)があることを説明。ガスター(10)を服用しても症状の改善が見られなければ、医療機関を受診するように勧める。
60-70	男	父親が胃潰瘍との診断を受けたのだが、ガスター(10)で治すことは可能か。	胃潰瘍を一般用医薬品で治療することはできないことを説明し、医療機関での治療を勧める。
40-50	女	ピロリ菌除去のため医療機関を受診していたが、医薬品の副作用で下肢がひどくむくんだため、医師の判断で治療が中止されている。ガスター(10)などでピロリ菌を除去できないか。	ピロリ菌の除去は医療用医薬品で決められた用法・用量のもと治療を行う必要があることを説明し、主治医にきちんと相談するように勧める。
40-50	男	コマーシャルで見たガスター(10)を服用してみたい。	症状を確認し、ガスター(10)の効能や用法・用量などを説明の上販売する。また、症状が改善されない場合には医療機関を受診するように勧める。
40-50	男	胃痛にガスター(10)は効果的か。	症状を聞くと、夜中に痛みが強くなるとのこと。ガスター(10)を紹介する。

別紙 2

《効能・効果、有効性について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
20-30	女	1カ月ほど前から胃痛があり、漢方薬を服用したが改善しなかった。H2ブロッカーを服用してみたいがどうか。	1カ月間も胃痛が続くようであれば医療機関を受診するべきであると説明したが、忙しくて受診できないとのこと。H2ブロッカーを販売し、3日間服用しても症状が改善しなければすぐに受診するように伝える。
40-50	女	ガスター(10)の効果について教えてほしい。	効能・効果や使用上の注意等について説明する。
40-50	男	医療機関からパリエット10mgを処方されているが、医療機関を受診する時間がないので、同じ成分の一般用医薬品があれば代用したい。	パリエットは一般用医薬品として販売していないことを説明し、医療機関の受診を勧める。また、次に受診できるまでの代用としてガスター(10)を紹介し、用法・用量を守って服用するように説明する。

《使用上の注意について》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
60-70	男	腎機能が低下しているが、胃が痛むのでガスター(10)を服用したいが問題ないか。	ガスター(10)の腎臓への影響が心配されることを説明の上、医療機関の受診を勧める。
40-50	男	ガスター(10)を服用しても効果が感じられない。	医療機関の受診を勧める。また、喫煙を控えるように説明する。
40-50	不明	ピロリ菌除菌検査をするが、ガスター(10)を服用してもよいか。	特に問題ないことを伝える。但し、検査後に除菌を目的として胃酸の分泌を抑える医薬品が処方される可能性があることを併せて説明する。
40-50	女	以前胃痛時にガスター(10)を服用して効果があったので、再度服用したいが問題ないか。	症状が繰り返されるようであれば医療機関を受診するように説明した上で販売する。

《その他》

年齢	性別	来局者の相談・質問内容	薬局・薬剤師の対応・応答
40-50	男	H2ブロッカーは室内で保管してもよいか。	直射日光の当たらない涼しいところに保管するように説明する。

参 考

平成 17 年度「薬と健康の週間」における 全国統一事業の結果について（速報値）

平成 18 年 4 月
（社）日本薬剤師会

・ 薬局・薬店における事業

（一般用医薬品提供時の“薬剤師の相談業務”に関するデータ及び相談事例の収集）

（1）結果の概要

	平成 17 年度	平成 16 年度	平成 15 年度
参加薬局・薬店数	8,434	7,563	7,297
1日あたりの一般用医薬品購入者数	162,598	145,989	135,555
一般用医薬品購入者数のうち相談・質問者の数	39,383	40,571	39,940
全国の薬局・薬店での1日の一般用医薬品購入者数（推定値）	120万3千人	119万7千人	113万人
そのうち、一般用医薬品を購入し、相談・質問を行った人数（推定値）	29万1千人	33万3千人	33万人

（注）薬店は「一般販売業」のみ。以下同じ。

（2）一般用医薬品に関する相談・質問の内容別内訳（複数回答）

	平成 17 年度	平成 16 年度	平成 15 年度
医薬品の選択について	26,299 (41.9%)	27,554 (41.0%)	29,618 (44.8%)
効能・効果、有効性について	8,238 (13.1%)	8,255 (12.3%)	9,250 (14.0%)
用法・用量について	6,356 (10.1%)	6,549 (9.8%)	7,908 (12.0%)
併用、相互作用について	4,662 (7.4%)	5,275 (7.9%)	3,735 (5.7%)
剤形について	2,913 (4.6%)	2,882 (4.3%)	-
漢方薬について	2,834 (4.5%)	3,185 (4.7%)	3,146 (4.8%)
副作用について	2,726 (4.3%)	3,390 (5.0%)	3,775 (5.7%)
使用上の注意について	2,327 (3.7%)	2,924 (4.4%)	3,705 (5.6%)
乳幼児・小児の使用について	1,655 (2.6%)	1,687 (2.5%)	-
高齢者の使用について	1,297 (2.1%)	1,706 (2.5%)	1,530 (2.3%)
妊婦・授乳婦の使用について	851 (1.4%)	947 (1.4%)	891 (1.3%)
たばこ・禁煙について	816 (1.3%)	784 (1.2%)	-
使用期限・有効期間について	717 (1.1%)	922 (1.4%)	978 (1.5%)
その他	1,099 (1.8%)	1,097 (1.6%)	1,533 (2.3%)
延べ件数 計	62,790(100.0%)	67,157(100.0%)	66,069(100.0%)

（注）表中の [-]は平成 16 年度より新たに追加した項目

参 考

(3) 副作用の相談のあった一般用医薬品の「薬効分類別」件数

(件)

平成 1 7 年度		平成 1 6 年度		平成 1 5 年度	
風邪薬	132	風邪薬	169	精神神経用薬 (風邪薬等)	412
解熱鎮痛剤	100	解熱鎮痛剤	132		
その他の精神神経用薬	57	その他の精神神経用薬	19		
鎮静剤	31	鎮静剤	34		
	(小計 320)		(小計 354)		
その他の外皮用薬	62	その他の外皮用薬	46	外皮用薬	173
外用鎮痛・消炎薬	44	外用鎮痛・消炎薬	97		
水虫・たむし用薬	30	水虫・たむし用薬	38		
発毛・養毛薬	6	発毛・養毛薬	6		
その他の感覚器官用薬	0	その他の感覚器官用薬	8		
	(小計 142)		(小計 195)		
H 2 ブロッカー	28	H 2 ブロッカー	32	消化器官用薬	86
その他の消化器官用薬	26	その他の消化器官用薬	17		
胃腸鎮痛薬	16	胃腸鎮痛薬	3		
その他の胃腸薬	13	その他の胃腸薬	14		
整腸薬、止しゃ薬	7	整腸薬、止しゃ薬	7		
	(小計 90)		(小計 73)		
循環器用薬	36	循環器用薬	19	循環器・血液用薬	63
鎮咳去たん薬	29	鎮咳去たん薬	58	呼吸器官用薬	51
漢方薬	28	漢方薬	34	漢方製剤	61
滋養強壮保健薬	24	滋養強壮保健薬	24	滋養強壮保健薬	66
内服アレルギー用薬	21	内服アレルギー用薬	34	アレルギー用薬	109
耳鼻科用薬	15	耳鼻科用薬	42	耳鼻科用薬	36
うがい薬	10	うがい薬	1	歯科口腔用薬	7
歯科口腔用薬	0	歯科口腔用薬	7		
	(小計 10)		(小計 8)		
眼科用薬	8	眼科用薬	18	眼科用薬	28
泌尿生殖器官及び肛門用薬	8	泌尿生殖器官及び肛門用薬	7	泌尿生殖器官及び肛門用薬	16
生薬製剤	5	生薬製剤	4	生薬製剤	19
女性用薬	2	女性用薬	2	女性用薬	5
その他	60	その他	84	その他	84
禁煙補助剤	10	禁煙補助剤	6		
公衆衛生用薬	0	公衆衛生用薬	1		
一般用検査薬	0	一般用検査薬	0		
	(小計 70)		(小計 91)		
延べ件数	計 808	延べ件数	計 963	延べ件数	計 1,216

(注 1) 副作用の報告のあった相談事例のうち、対象薬剤の薬効別分類が判明したもの

(注 2) 件数は副作用の症状の数

参 考

(4) 副作用の主な症状 (複数回答)

(件)

	平成 1 7 年度	平成 1 6 年度	平成 1 5 年度
発疹	113	137	213
そう痒	66	96	116
胃痛	55	44	86
眠気	54	66	143
悪心・嘔吐	54	34	73
ほてり・発赤	50	59	63
食欲不振	50	27	72
便秘	48	66	74
めまい・ふらつき	26	32	52
口渇	21	51	88
脱力感	21	24	38
腹痛	18	22	39
倦怠感	17	15	27
排尿困難	16	25	37
動悸	14	19	32
口内炎	14	13	23
水疱	12	8	12
腹部膨満感	11	15	23
下痢	10	20	55
しびれ感	10	3	8
むくみ・浮腫	9	16	34
頭痛	9	10	25
息切れ	6	8	7
発汗	6	0	9
腫脹	5	12	10
頻脈	2	6	10
発熱	2	0	6
ふるえ・振戦	1	12	16
悪寒	1	3	12
胸部痛	1	2	4
その他	97	92	193
延べ件数 計	819	937	1,600

(注) 副作用報告のあった相談事例のうち、対象薬剤の薬効別分類が不明なものを含む

参考

(5) 副作用の相談のあった一般薬の「薬効分類」と主な症状(複数回答)

平成17年度		平成16年度		平成15年度	
薬効別分類	主な症状	薬効別分類	主な症状	薬効別分類	主な症状
風邪薬(132) 解熱鎮痛剤(100) その他の精神神経用薬 (57) 鎮静剤(31) 小計320	発疹(41)、眠気 (38)、胃痛(30)、 悪心・嘔吐(28)、 便秘(23)、食欲不 振(22)、めまい・ ふらつき(17)、そ う痒(11)、脱力感 (11)、倦怠感 (11)、排尿困難 (11)	風邪薬(169) 解熱鎮痛薬(132) 鎮静薬(19) その他の精神神経用薬 (34) 小計354	眠気(46)、発疹(45)、 胃痛(29)、悪心・嘔 吐(20)、便秘(20)、口 渇(19)、めまい・ふ らつき(19)、そう痒 (16)、排尿困難(14)、 食欲不振(13)、脱力 感(12)、腹痛(11)	精神神経用薬(風邪薬 等)(412)	眠気(72)、発疹 (68)、胃痛(59)、悪 心・嘔吐(38)、口渇 (33)、食欲不振 (32)、めまい・ふら つき(31)、便秘 (27)、そう痒(26)、 排尿困難(26)
その他の外用薬(62) 外用鎮痛・消炎剤 (44) 水虫・たむし用薬(30) 発毛・養毛薬(6) 小計142	発疹(38)、そう痒 (32)、ほてり・発 赤(30)、水疱 (10)、腫脹(4)、食 欲不振(3)	外用鎮痛・消炎薬 (97) その他の外用薬 (46) 水虫・たむし用薬 (38) その他の感覚器官用薬 (8) 発毛・養毛薬(6) 小計195	そう痒(49)、発疹 (45)、ほてり・発赤 (40)、眠気(5)	外用薬(173)	発疹(74)、そう痒 (58)、発赤(29)
H2ブロッカー(28) その他の消化器官用薬 (26) 胃腸鎮痛鎮痙薬(16) その他の胃腸薬(13) 胃腸薬、止しゃ薬(7) 小計90	胃痛(11)、便秘 (10)、悪心・嘔吐 (9)、食欲不振 (7)、口渇(7)、発 疹(6)、腹痛(6)、 ほてり・発赤(5)、 下痢(5)、口内炎 (2)、眠気(2)、動 悸(2)、排尿困難 (2)	H2ブロッカー(32) その他の消化器官用薬 (17) その他の胃腸薬(14) 整腸薬・止しゃ薬(7) 胃腸鎮痛鎮痙薬(3) 小計73	下痢(9)、腹痛(8)、発 疹(5)、悪心・嘔吐 (5)、便秘(4)、口渇 (4)、胃痛(3)	消化器官用薬(86)	下痢(20)、腹痛 (15)、口渇(12)、便 秘(11)、発疹(9)
循環器用薬(36)	発疹(5)、そう痒 (3)、ほてり・発赤 (3)、便秘(3)、腹 部膨満感(3)、食欲 不振(2)、脱力感 (2)	循環器用薬(19)	そう痒(3)、発疹(2)、 ほてり・発赤(1)、む くみ・浮腫(1)、悪心 ・嘔吐(1)、下痢(1)、 便秘(1)、口渇(1)、め まい・ふらつき(1)	循環器・血液用薬 (63)	発疹(10)、悪心・嘔 吐(7)、ほてり(6)、 下痢(6)、めまい・ ふらつき(6)
鎮咳去たん薬(29)	便秘(9)、眠気 (4)、悪心・嘔吐 (3)、食欲不振 (3)、発疹(2)、胃 痛(2)	鎮咳去たん薬(58)	便秘(29)、口渇 (7)、めまい・ふ らつき(4)、発疹 (3)、食欲不振(2)、 眠気(2)、排尿困難 (2)	呼吸器官用薬(51)	便秘(20)、発疹(6)、 食欲不振(6)、悪心 ・嘔吐(6)
漢方薬(28)	食欲不振(4)、むく み・浮腫(3)、肝機 能低下(3)、発疹 (2)、そう痒(2)、 悪心・嘔吐(2)	漢方薬(34)	むくみ・浮腫(3)、胃 痛(3)、頭痛(3)、動悸 (3)、ほてり・発赤 (2)、腫脹(2)、悪心 ・嘔吐(2)、食欲不振 (2)、脱力感(2)	漢方製剤(61)	浮腫(9)、発疹(7)、 食欲不振(7)、胃痛 (7)、悪心・嘔吐 (6)、下痢(6)
滋養強壮保健薬(24)	動悸(3)、発疹 (2)、悪心・嘔吐 (2)、食欲不振 (2)、口内炎(2)	滋養強壮保健薬(24)	発疹(6)、そう痒(3)、 悪心・嘔吐(1)、下痢 (1)、便秘(1)、胃痛 (1)	滋養強壮保健薬(66)	発疹(13)、食欲不振 (8)
内服アレルギー用薬 (21)	眠気(5)、食欲不振 (3)、発疹(3)	内服アレルギー用薬 (34)	眠気(11)、そう痒 (4)、口渇(4)、発疹 (2)、脱力感(2)	アレルギー用薬 (109)	眠気(49)、口渇 (23)、発疹(13)
耳鼻科用薬(15)	口渇(3)、そう痒 (2)	耳鼻科用薬(42)	口渇(10)、眠気(10)、 便秘(2)、排尿困難 (2)	耳鼻科用薬(36)	眠気(15)、口渇(8)

(注) 副作用の報告のあった相談事例のうち、対象薬剤の薬効別分類が判明したもの

参 考

(6) 薬剤師のとした措置 (複数回答)

	平成 1 7 年度	平成 1 6 年度	平成 1 5 年度
使用の中止を指示	210(29.5%)	304(30.1%)	477(27.0%)
服薬指導	162(22.7%)	227(22.5%)	383(21.7%)
医療機関を紹介	118(16.5%)	177(17.5%)	153 (8.7%)
治療のため他の薬を推奨	85(11.9%)	110(10.9%)	180(10.2%)
薬効の同じ他の薬を推奨	65 (9.1%)	96 (9.5%)	210(11.9%)
減量を指示	27 (3.8%)	30 (3.0%)	101 (5.7%)
当該メーカーへ連絡、 情報提供	17 (2.4%)	19 (1.9%)	48 (2.7%)
厚生労働省の医薬品・医 療機器等安全性情報報告 制度へ報告	1 (0.1%)	2 (0.2%)	8 (0.5%)
その他	28(3.9%)	44 (4.4%)	205(11.6%)
延べ件数 計	713(100.0%)	1,009(100.0%)	1,765(100.0%)

(注 1) 副作用の報告のあった相談事例のうち、対象薬剤の薬効別分類が判明したものについて
薬剤師のとした措置

(注 2) 件数は相談のあった患者に対する措置件数

参 考

．薬剤師会におけるお薬相談事業の実施件数

(1) 「お薬相談」の実施件数

		都道府県薬剤師会	支部薬剤師会	計
平成 1 7 年度	実施した薬剤師会	2 8 ケ所	2 4 4 ケ所	2 7 2 ケ所
	延べ実施回数	4 0 回	3 4 9 回	3 8 9 回
平成 1 6 年度	実施した薬剤師会	2 8 ケ所	2 0 4 ケ所	2 3 2 ケ所
	延べ実施回数	3 6 回	3 1 3 回	3 4 9 回
平成 1 5 年度	実施した薬剤師会	2 3 ケ所	2 0 2 ケ所	2 2 5 ケ所
	延べ実施回数	4 2 回	2 7 1 回	3 1 3 回

(2) 相談・質問の内容

	平成 1 7 年度	H 1 6 年度	H 1 5 年度
医薬品	3,602 (68.6%)	3,552 (69.3%)	4,023 (77.6%)
いわゆる健康食品	327 (6.2%)	347 (6.8%)	485 (9.4%)
保健機能食品	148 (2.8%)	190 (3.7%)	-
医薬部外品	46 (0.9%)	70 (1.4%)	62 (1.2%)
化粧品	43 (0.8%)	12 (0.2%)	30 (0.6%)
医療機器	28 (0.5%)	26 (0.5%)	35 (0.7%)
その他	1,053 (20.1%)	926 (18.1%)	547 (10.6%)
計	5,247(100.0%)	5,123(100.0%)	5,182(100.0%)

(注) 表中の [-] は平成 1 6 年度より新たに追加した項目

(3) 医薬品についての相談の内訳

	平成 1 7 年度	平成 1 6 年度	平成 1 5 年度
一般用医薬品	807(22.4%)	894(25.2%)	841(20.4%)
医療用医薬品	2,618(72.7%)	2,551(71.8%)	2,667(66.3%)
不明	177(4.9%)	107(3.0%)	515(12.8%)
計	3,602(100.0%)	3,552(100.0%)	4,023(100.0%)

参 考

(4) 一般用医薬品に関する相談・質問の内容別内訳 (複数回答)

	平成 1 7 年度	平成 1 6 年度	平成 1 5 年度
副作用について	264 (18.4%)	210(15.6%)	332 (16.6%)
医薬品の選択について	255 (17.8%)	240(17.9%)	497 (24.9%)
効能・効果、有効性について	212 (14.8%)	174(13.0%)	280 (14.0%)
相互作用について	149 (10.4%)	129 (9.6%)	173 (8.7%)
漢方薬について	121 (8.5%)	107 (8.0%)	119 (6.0%)
用法・用量について	91 (6.4%)	120 (8.9%)	150 (7.5%)
高齢者の使用について	55 (3.8%)	51 (3.8%)	49 (2.5%)
使用上の注意について	47 (3.3%)	58 (4.3%)	141 (7.1%)
使用期限・有効期間について	46 (3.2%)	43 (3.2%)	41 (2.1%)
たばこ・禁煙について	36 (2.5%)	47 (3.5%)	-
乳幼児・小児の使用について	24 (1.7%)	23 (1.7%)	
妊婦・授乳婦の使用について	15 (1.0%)	37 (2.8%)	33 (1.7%)
剤形について	9 (0.6%)	33 (2.5%)	-
その他	107 (7.5%)	70 (5.2%)	179 (9.0%)
延べ件数 計	1,431(100.0%)	1,342(100.0%)	1,994(100.0%)

(注) 表中の [-]は平成 1 6 年度より新たに追加した項目

参 考

(5) 副作用の相談のあった一般用医薬品の「薬効分類別」件数

(件)

平成 1 7 年度		平成 1 6 年度		平成 1 5 年度		
風邪薬	43	風邪薬	34	精神神経用薬(風邪薬等)	26	
解熱鎮痛薬	21	解熱鎮痛薬	23			
鎮静薬	9	鎮静薬	9			
その他の精神神経用薬	1	その他の精神神経用薬	10			
(小計74)		(小計76)				
内服アレルギー用薬	24	内服アレルギー用薬	7	アレルギー用薬	13	
耳鼻科用薬	21	耳鼻科用薬	1	耳鼻科用薬	1	
漢方薬	15	漢方薬	1	漢方製剤	2	
H2 ブロッカー	8	H2 ブロッカー	0	消化器官用薬	8	
その他の胃腸薬	2	その他の胃腸薬	2			
胃腸鎮痛鎮痙薬	2	胃腸鎮痛鎮痙薬	1			
整腸薬、止しゃ薬	1	整腸薬、止しゃ薬	0			
その他の消化器官用薬	0	その他の消化器官用薬	1			
(小計13)		(小計 4)				
循環器用薬	11	循環器用薬	11	循環器・血液用薬	7	
外用鎮痛・消炎薬	2	外用鎮痛・消炎薬	2	外用薬	11	
水虫・たむし用薬	2	水虫・たむし用薬	1			
その他の外用薬	2	その他の外用薬	0			
その他の感覚器官用薬	0	その他の感覚器官用薬	0			
発毛・養毛剤	0	発毛・養毛剤	0			
(小計 6)		(小計 3)				
歯科口腔用薬	3	歯科口腔用薬	0	歯科口腔用薬	0	
うがい薬	3	うがい薬	0			
(小計 6)		(小計 0)				
泌尿生殖器官及び肛門用薬	4	泌尿生殖器官及び肛門用薬	0	泌尿生殖器官及び肛門用薬	3	
滋養強壮保健薬	3	滋養強壮保健薬	8	滋養強壮保健薬	1	
眼科用薬	3	眼科用薬	1	眼科用薬	4	
女性用薬	1	女性用薬	1	女性用薬	2	
鎮咳去たん薬	1	鎮咳去たん薬	1	呼吸器官用薬	2	
生薬製剤	0	生薬製剤	0	生薬製剤	0	
その他	13	その他	23	その他	8	
禁煙補助剤	0	禁煙補助剤	1			
公衆衛生用薬	0	公衆衛生用薬	0			
一般検査薬	0	一般検査薬	0			
(小計13)		(小計24)				
延べ件数	計	195	延べ件数	計	112	
				延べ件数	計	88

(注 1) 副作用の報告のあった相談事例のうち、対象薬剤の薬効別分類が判明したもの

(注 2) 件数は副作用の症状の数

参 考

(6) 副作用の主な症状 (複数回答)

(件)

	平成 1 7 年度	平成 1 6 年度	平成 1 5 年度
発疹	36	27	23
ほてり・発赤	18	3	3
悪心・嘔吐	12	11	5
めまい・ふらつき	12	4	4
便秘	10	1	8
眠気	8	7	11
そう痒	7	6	6
食欲不振	7	3	4
口内炎	7	3	3
ふるえ・振戦	7	2	3
むくみ・浮腫	7	1	4
脱力感	6	4	3
動悸	5	4	2
頭痛	5	2	1
水疱	5	0	0
倦怠感	4	2	1
腹部膨満感	4	0	2
胃痛	3	8	6
しびれ感	3	5	2
悪寒	3	4	3
口渇	3	3	6
頻脈	3	2	0
下痢	3	1	5
排尿困難	3	0	3
息切れ	1	4	3
腹痛	1	2	2
発熱	1	2	1
発汗	1	1	3
腫脹	1	0	1
胸部痛	1	0	0
その他	16	4	6
延べ件数 計	203	116	124

(注) 副作用の報告のあった相談事例のうち、対象薬剤の薬効別分類が不明なものを含む